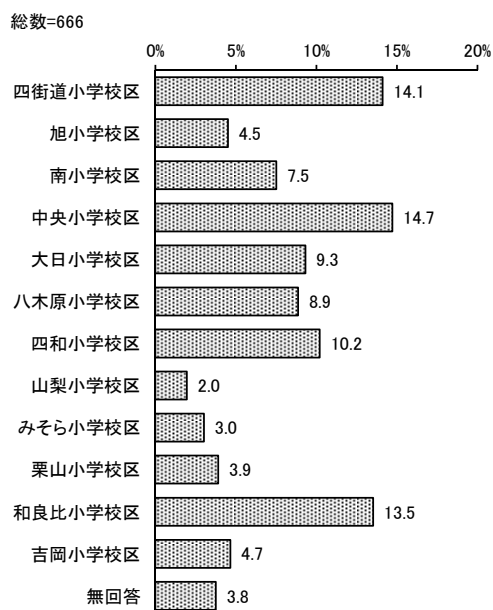


【2】小学生調査結果

1 子どもと家庭の状況

問1 居住地区

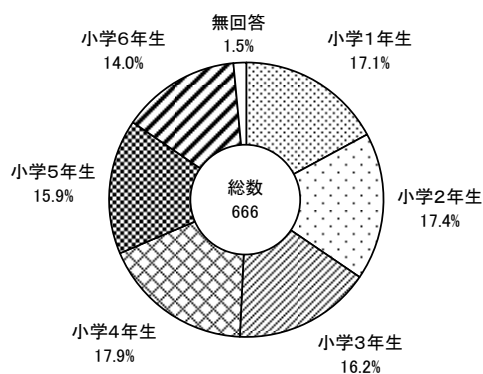
お住まいはどちらになりますか。(〇は1つ)



「中央小学校区」が14.7%、「四街道小学校区」が14.1%でともに多く、「和良比小学校区」が13.5%が続いています。

問2 子どもの学年

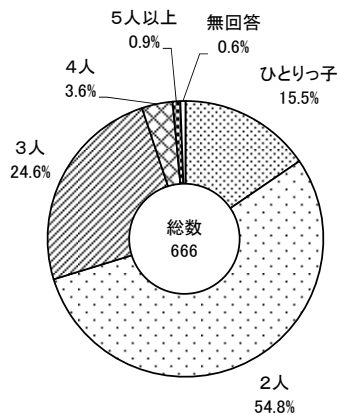
あて名のお子さんの学年は、次のうちどちらに該当しますか。(〇は1つ)



「小学4年生」が17.9%、「小学2年生」が17.4%、「小学1年生」が17.1%となっており、各学年とも14%～18%の範囲に収まっています。

問3 子どもの人数

あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。(〇は1つ)

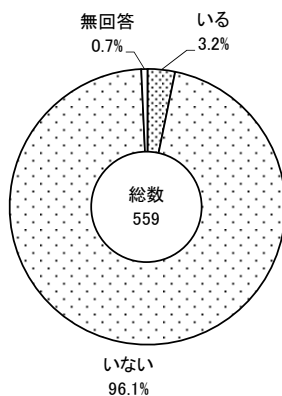


「2人」が54.8%で最も多く、「3人」が24.6%、「ひとりっ子」が15.5%が続いています。

問3-1 多胎児の有無

問3で子どもの人数が2人以上と回答した人に対する設問

あて名のお子さんを含め、きょうだいの中にふたご、みつご等多胎児のお子さんはいらっしゃいますか。(〇は1つ)

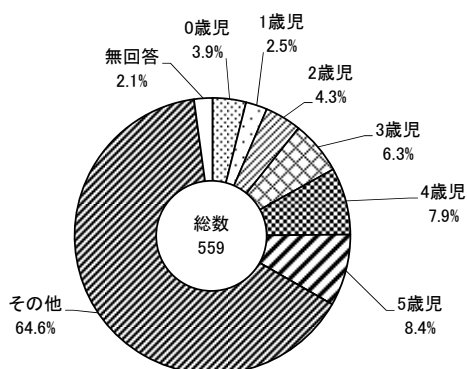


子どもの人数が2人以上であると回答した人に対して、きょうだいの中に多胎児がいるかどうかを聞いたところ、「いる」が3.2%、「いない」が96.1%となっています。

問3-2 末子の年齢

問3で子どもの人数が2人以上と回答した人に対する設問

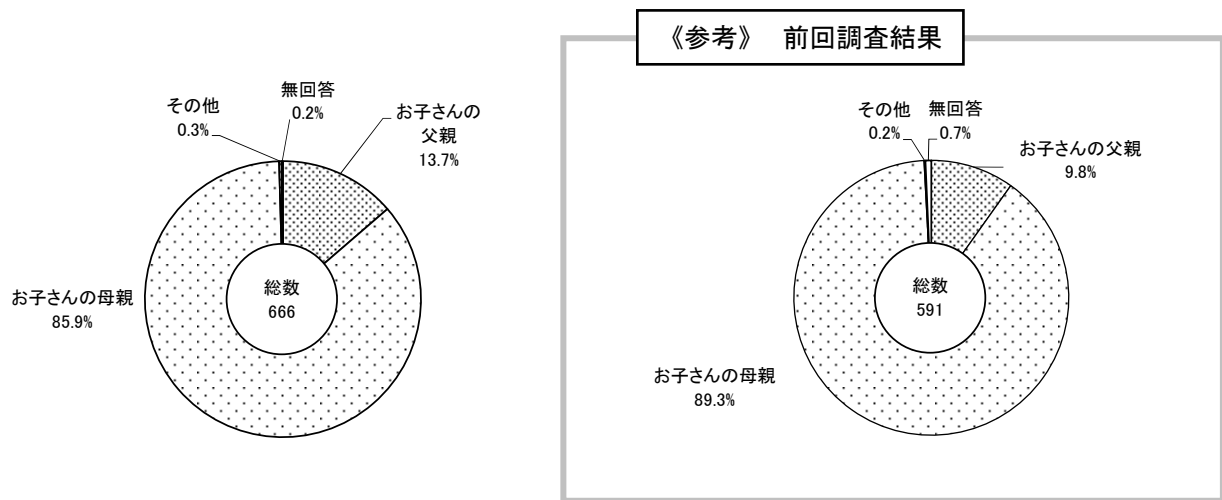
一番下のお子さん(末子)の生年月日はどちらになりますか。(〇は1つ)



子どもの人数が2人以上であると回答した人に対して、末子の年齢を聞いたところ、6歳以上である「その他」が64.6%を占めています。

問4 回答者

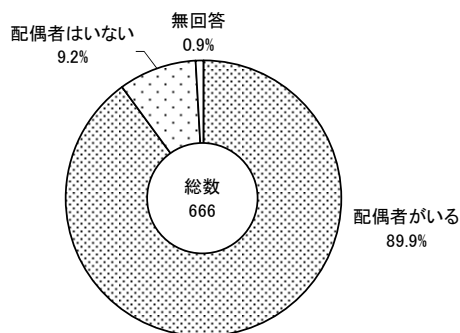
この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)



「お子さんの母親」が 85.9%を占めており、「お子さんの父親」は 13.7%となっています。前回調査では「お子さんの母親」が 89.3%、「お子さんの父親」が 9.8%となっています。

問5 回答者の配偶関係

この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

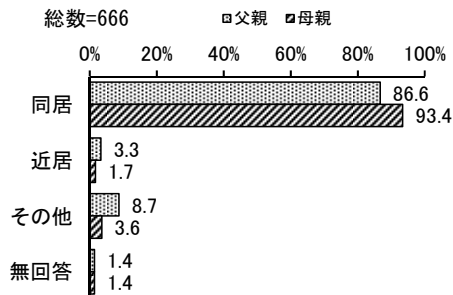


「配偶者がいる」が 89.9%を占めており、「配偶者がいない」は 9.2%となっています。

問6 家族の同居・近居の状況

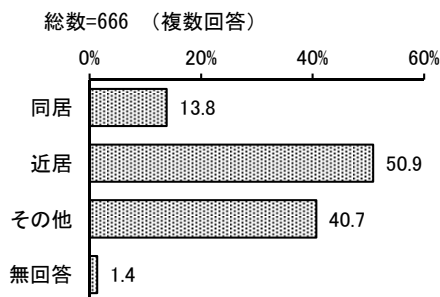
あて名のお子さんと父母、祖父母の同居・近居（おおむね30分以内程度で行き来できる範囲）の状況についてうかがいます。（父親、母親：○は1つ、祖父母：あてはまるものすべてに○）

①父親・母親



父親については、「同居」が86.6%を占めており、「近居」は3.3%となっています。母親については、「同居」が93.4%を占めており、「近居」は1.7%となっています。

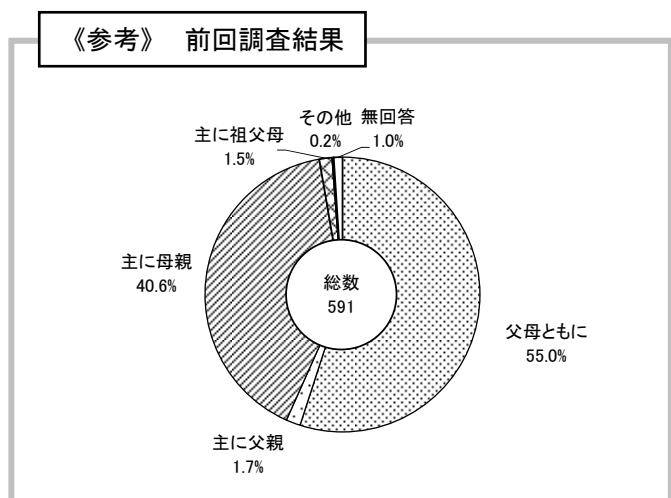
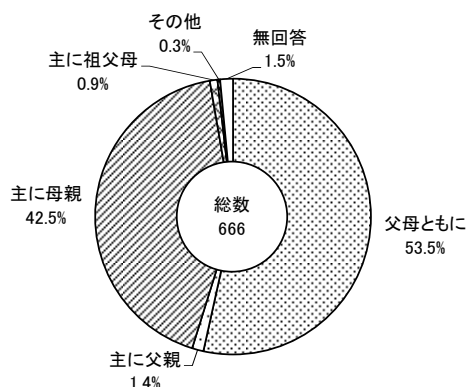
②祖父母



祖父母については、「近居」が50.9%で最も多く、「同居」は13.8%です。なお、「その他」は40.7%です。

問7 子育てを主に行っている人

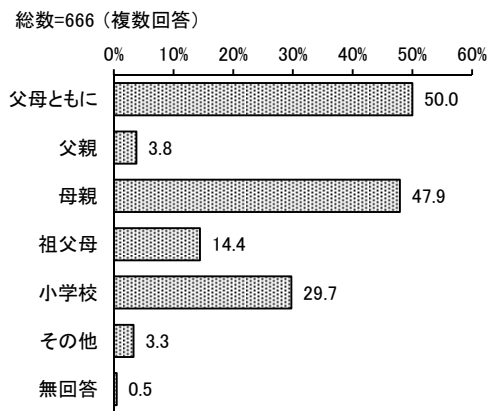
あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。（○は1つ）



「父母ともに」が53.5%で最も多く、「主に母親」が42.5%が続いています。前回調査では「父母ともに」が55.0%、「主に母親」が40.6%となっています。

問8 日常的に子育てに関わっている人

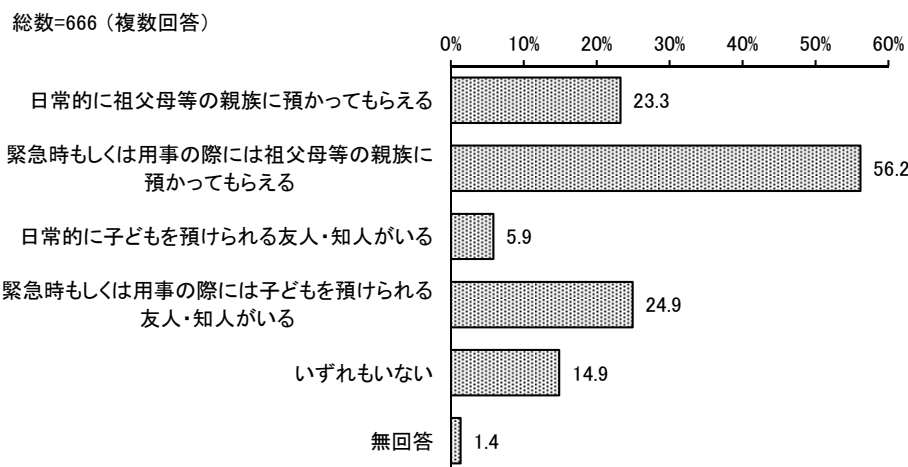
あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）



「父母ともに」が 50.0%で最も多く、「母親」が 47.9%、「小学校」が 29.7%が続いています。

問9 日頃のサポートの状況

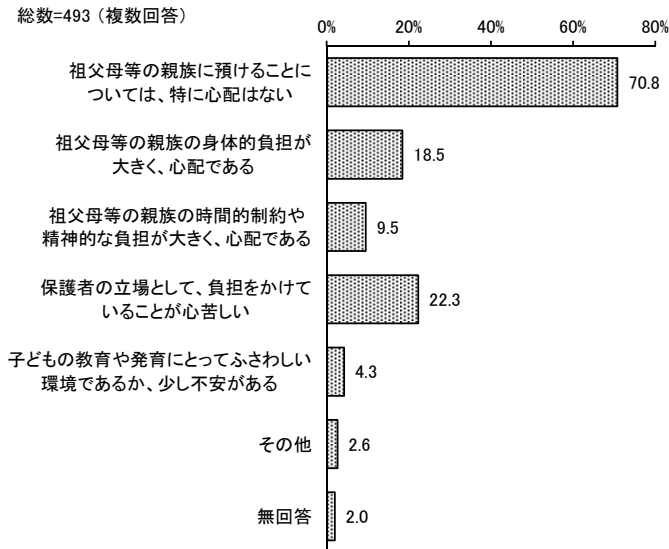
日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）



「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が 56.2%で最も多く、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」が 24.9%、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が 23.3%が続いています。なお、「いずれもない」は 14.9%です。

問 9-1 祖父母等からのサポートの状況

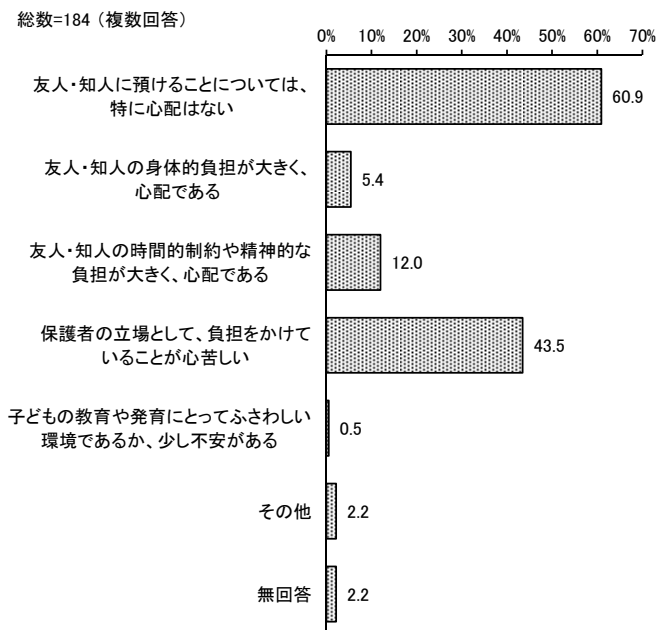
問 9 で祖父母等の親族に預かってもらえると回答した人に対する設問
 祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)



祖父母等に預かってもらえると回答した人に対して、祖父母等からのサポートの状況について聞いたところ、「祖父母等の親族に預けることについては、特に心配はない」が70.8%で最も多く、「保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が22.3%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である」が18.5%で続いています。

問 9-2 友人・知人からのサポートの状況

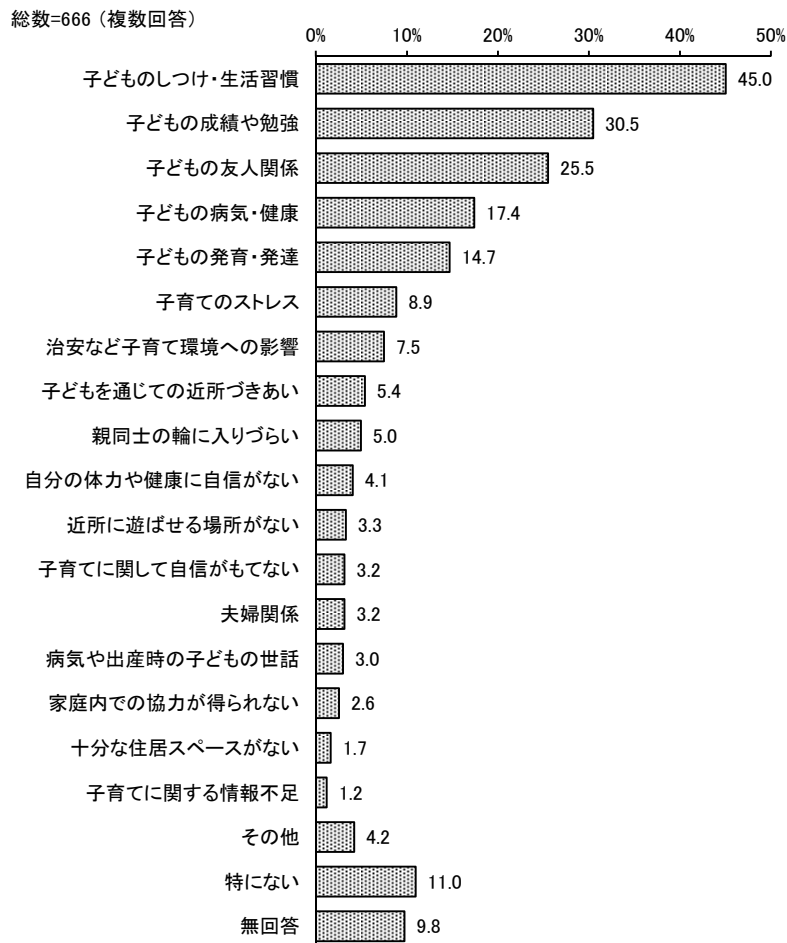
問 9 で友人・知人に預かってもらえると回答した人に対する設問
 友人・知人にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)



友人・知人に預かってもらえると回答した人に対して、友人・知人からのサポートの状況について聞いたところ、「友人・知人に預けることについては、特に心配はない」が60.9%で最も多く、「保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が43.5%、「友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく、心配である」が12.0%で続いています。

問 10 子育てする中で悩んだり不安に感じたりすること

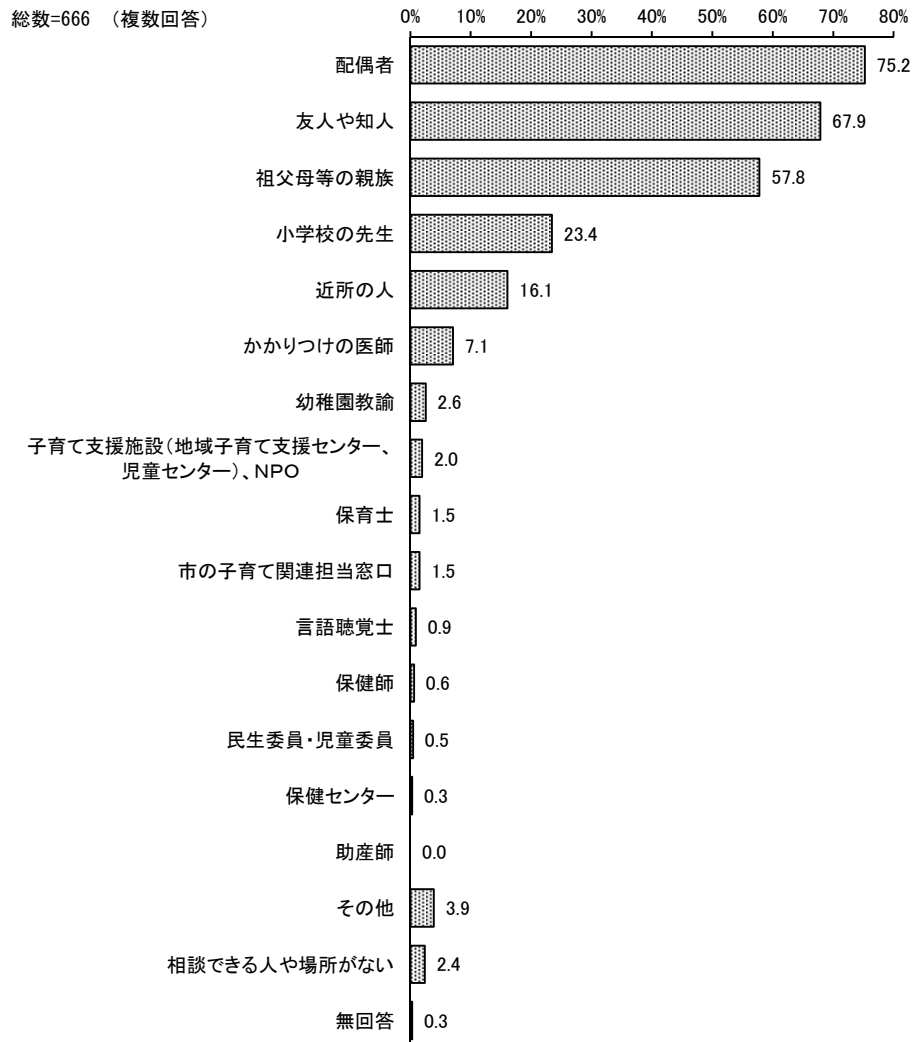
あて名のお子さんを育てている間に、どんなことで悩んだり不安に感じたり、困ったりしましたか。(〇は3つまで)



「子どものしつけ・生活習慣」が45.0%で最も多く、「子どもの成績や勉強」が30.5%、「子どもの友人関係」が25.5%が続いています。悩んだり不安に感じたり、困ったりすることが「特にない」は11.0%です。

問 11 子育てをする上での相談先

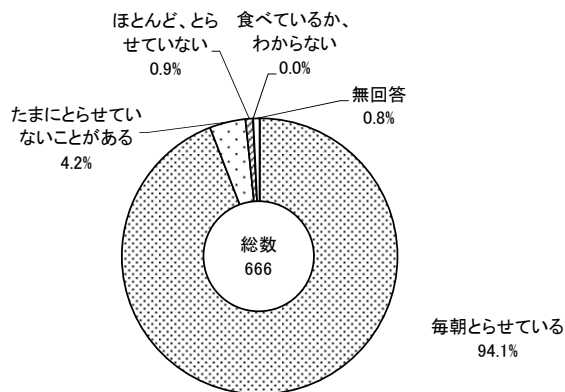
あて名のお子さんの子育て（教育）をする上で、気軽に相談できる人や、相談できる場所はどこですか。（あてはまるものすべてに○）



「配偶者」が 75.2%で最も多く、「友人や知人」が 67.9%、「祖父母等の親族」が 57.8%で続いています。「相談できる人や場所がない」は 2.4%です。

問 12 子どもの朝食の状況

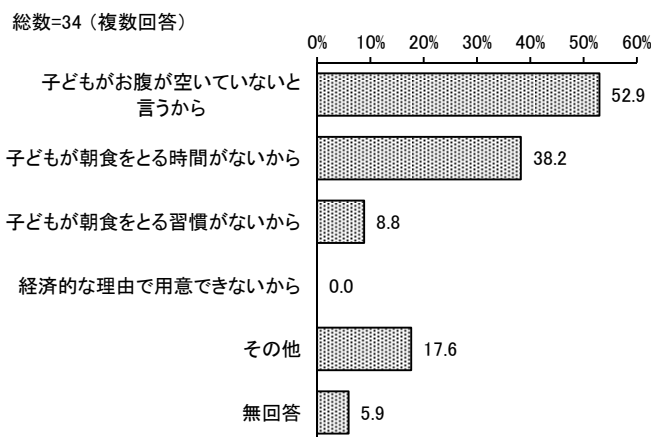
ふだん、あて名のお子さんに朝食をとらせてから学校に行かせていますか。(○は1つ)



「毎朝とらせている」が 94.1%を占めており、「たまにとらせていないことがある」は 4.2%、「ほとんど、とらせていない」は 0.9%です。

問 12-1 朝食をとらせていない理由

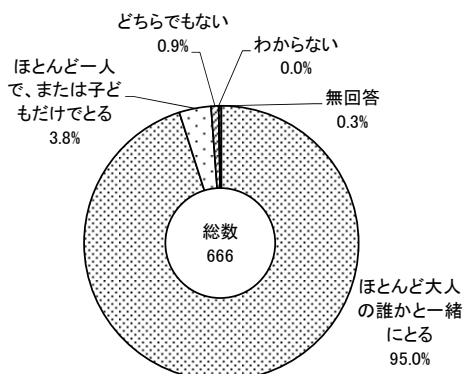
問 12 で子どもに朝食をとらせていないことがあると回答した人に対する設問
あて名のお子さんに朝食をとらせていない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



ふだん、子どもに朝食をとらせていないことがあると回答した人に対して、その理由を聞いたところ、「子どもがお腹が空いていないと言うから」が 52.9%で最も多く、「子どもが朝食をとる時間がないから」が 38.2%で続いています。

問 13 子どもの夕食の状況

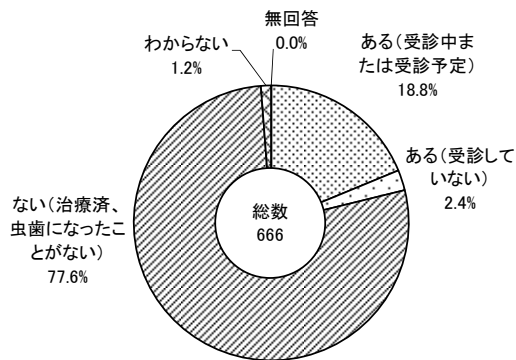
あて名のお子さんは、ふだん、夕食を大人の家族の誰かと一緒にとりますか。(○は1つ)



「ほとんど大人の誰かと一緒にとる」が 95.0%を占めており、「ほとんど一人で、または子どもだけでとる」は 3.8%、「どちらでもない」は 0.9%です。

問 14 子どもの虫歯の状況

あて名のお子さんには、虫歯がありますか（ありましたか）。（○は1つ）



「ない（治療済み、虫歯になったことがない）」が 77.6%を占めており、「ある（受診中または受診予定）」が 18.8%、「ある（受診していない）」が 2.4%となっています。

○虫歯の状況（家庭の経済状況別）

	全体	またある（受診中または受診予定）	ある（受診していない）	ない（治療済、虫歯になったことがない）	わからない	無回答
全体	666 100.0	125 18.8	16 2.4	517 77.6	8 1.2	-
経済状況	ゆとりあり	70 100.0	8 11.4	61 87.1	-	-
	普通	354 100.0	60 16.9	4 1.1	286 80.8	4 1.1
	苦しい	235 100.0	56 23.8	11 4.7	164 69.8	4 1.7
	わからない	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-
	無回答	5 100.0	-	-	5 100.0	-

※家庭の経済状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

子どもの虫歯の状況を家庭の経済状況別にみると、経済状況が苦しい回答者で「ある（受診中または受診予定）」「ある（受診していない）」の合計は 28.5%であり、普通もしくはゆとりがあるという回答者の割合を 10ポイント以上上回っています。一方、ゆとりがあるという回答者では「ない（治療済み、虫歯になったことがない）」が 87.1%となっています。

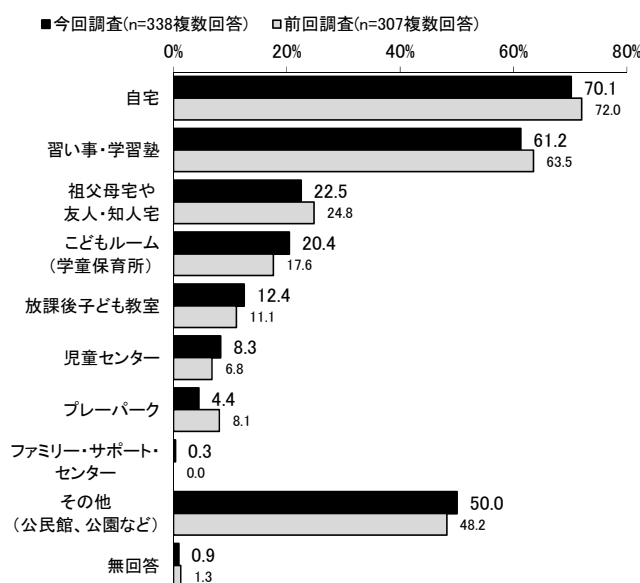
2 放課後の過ごし方

問 15 放課後に過ごさせたい場所(低学年)

小学1～3年生の児童の保護者に対する設問

あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○をつけて、[]内に数字でご記入ください。）

①過ごさせたい場所（低学年）



小学1～3年生の児童の保護者に対して、小学校低学年（1～3年生）の放課後に過ごさせたい場所を聞いたところ、「自宅」が70.1%で最も多く、「習い事・学習塾」が61.2%、「その他（公民館、公園など）」が50.0%で続いています。

前回調査では「自宅」が72.0%、「習い事・学習塾」が63.5%、「その他（公民館、公園など）」が48.2%となっています。

○過ごさせたい場所（母親の就労状況別）

	全体	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事・学習塾	児童センター	放課後子ども教室	こどもルーム(学童保育所)	プレーパーク	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答	
全体	338 100.0	237 70.1	76 22.5	207 61.2	28 8.3	42 12.4	69 20.4	15 4.4	1 0.3	169 50.0	3 0.9	
母親の就労状況	フルタイム	79 100.0	43 54.4	17 21.5	37 46.8	4 5.1	11 13.9	5 6.3	1 1.3	17 21.5	-	
	パートタイム	152 100.0	115 75.7	37 24.3	95 62.5	12 7.9	15 9.9	23 15.1	4 2.6	80 52.6	2 1.3	
	働いていない	94 100.0	72 76.6	19 20.2	69 73.4	11 11.7	14 14.9	2 2.1	5 5.3	-	69 73.4	1 1.1
	無回答	13 100.0	7 53.8	3 23.1	6 46.2	1 7.7	2 15.4	5 38.5	1 7.7	-	3 23.1	-

※母親の就労状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

小学校低学年（1～3年生）の放課後に過ごさせたい場所を母親の就労状況別にみると、母親がフルタイム就労の場合は「こどもルーム（学童保育所）」が49.4%となっており、回答者全体の割合を29ポイント上回っています。一方、「自宅」（54.4%）、「習い事・学習塾」（46.8%）、「その他（公民館、公園など）」（21.5%）は、回答者全体の割合を14ポイント以上下回っています。

母親が働いていない場合は、「習い事・学習塾」「その他（公民館、公園など）」がいずれも73.4%であり、回答者全体の割合を12ポイント以上上回っています。

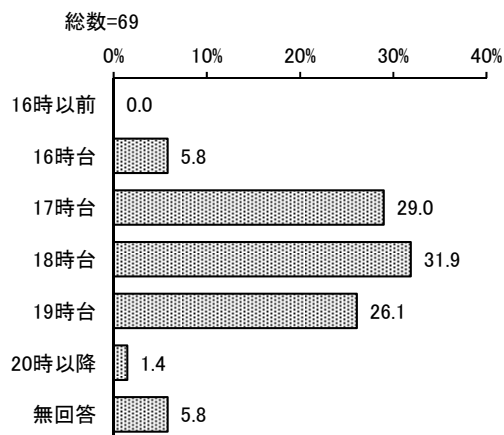
②週間利用日数（過ごさせたい場所別）【低学年】

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	237 100.0	45 19.0	75 31.6	38 16.0	15 6.3	42 17.7	3 1.3	13 5.5	6 2.5
習い事・学習塾	207 100.0	50 24.2	103 49.8	39 18.8	10 4.8	3 1.4	-	-	2 1.0
祖父母宅や友人・知人宅	76 100.0	36 47.4	24 31.6	7 9.2	2 2.6	4 5.3	-	-	3 3.9
こどもルーム（学童保育所）	69 100.0	2 2.9	6 8.7	7 10.1	12 17.4	37 53.6	4 5.8	-	1 1.4
放課後子ども教室	42 100.0	23 54.8	13 31.0	1 2.4	2 4.8	2 4.8	-	-	1 2.4
児童センター	28 100.0	15 53.6	8 28.6	1 3.6	1 3.6	-	-	-	3 10.7
プレーパーク	15 100.0	11 73.3	3 20.0	-	1 6.7	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
その他（公民館、公園など）	169 100.0	43 25.4	68 40.2	36 21.3	10 5.9	9 5.3	-	-	3 1.8

※「自宅」「習い事・学習塾」「祖父母宅や友人・知人宅」「こどもルーム（学童保育所）」「放課後子ども教室」「その他（公民館、公園など）」の日数で最も多い割合に網掛けをしています。

過ごさせたい場所別に週間利用日数をみると、最も多いのは自宅で「2日」（31.6%）、習い事・学習塾で「2日」（49.8%）、祖父母宅や友人・知人宅で「1日」（47.4%）、こどもルーム（学童保育所）で「5日」（53.6%）、放課後子ども教室で「1日」（54.8%）、その他（公民館、公園など）で「2日」（40.2%）となっています。

●こどもルームの利用時間（下校時から）

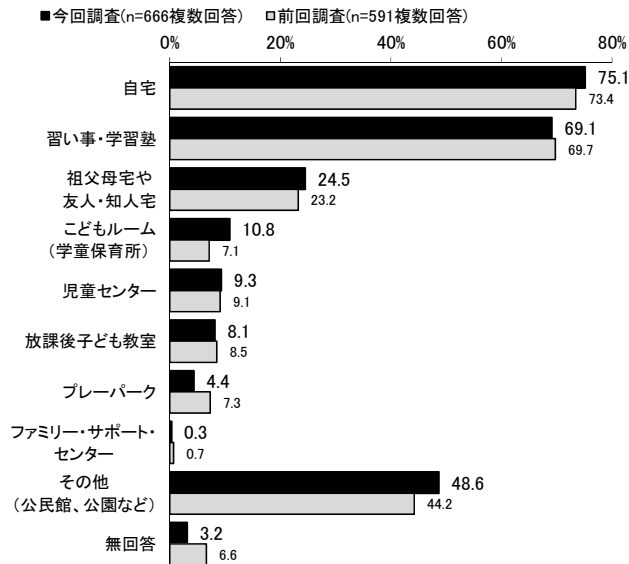


こどもルーム（学童保育所）の下校時からの利用時間は「18時台まで」が31.9%で最も多く、「17時台まで」が29.0%、「19時台まで」が26.1%で続いています。

問 16 放課後に過ごさせたい場所(高学年)

あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○をつけて、[]内に数字でご記入ください。）

①過ごさせたい場所（高学年）



「自宅」が75.1%で最も多く、「習い事・学習塾」が69.1%、「その他（公民館、公園など）」が48.6%で続いています。

前回調査では「自宅」が73.4%、「習い事・学習塾」が69.7%、「その他（公民館、公園など）」が44.2%となっています。

○過ごさせたい場所（母親の就労状況別）

	全体	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事・学習塾	児童センター	放課後子ども教室	こどもルーム(学童保育所)	プレーパーク	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答
全体	666 100.0	500 75.1	163 24.5	460 69.1	62 9.3	54 8.1	72 10.8	29 4.4	2 0.3	324 48.6	21 3.2
母親の就労状況	フルタイム	146 100.0	106 72.6	34 23.3	97 66.4	12 8.2	42 28.8	6 4.1	1 0.7	44 30.1	3 2.1
	パートタイム	339 100.0	260 76.7	84 24.8	243 71.7	32 9.4	23 6.8	19 5.6	14 4.1	173 51.0	12 3.5
	働いていない	158 100.0	121 76.6	41 25.9	111 70.3	18 11.4	18 11.4	6 3.8	8 5.1	101 63.9	3 1.9
	無回答	23 100.0	13 56.5	4 17.4	9 39.1	-	1 4.3	5 21.7	1 4.3	-	6 26.1

※母親の就労状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

小学校高学年（4～6年生）の放課後に過ごさせたい場所を母親の就労状況別にみると、母親がフルタイム就労の場合は「こどもルーム（学童保育所）」が28.8%となっており、回答者全体の割合を18ポイント上回っています。一方、「その他（公民館、公園など）」（30.1%）は、回答者全体の割合を18ポイント下回っています。

母親が働いていない場合は、「その他（公民館、公園など）」が63.9%であり、回答者全体の割合を15ポイント上回っています。

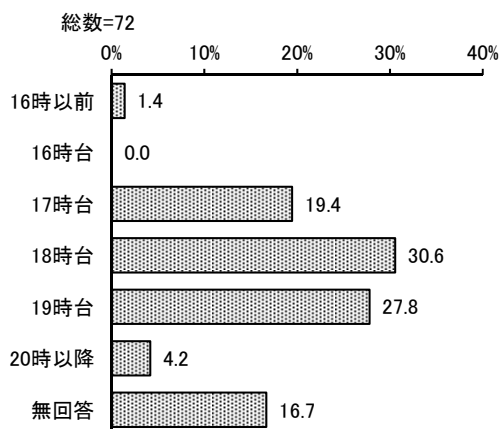
②週間利用日数（過ごさせたい場所別）【高学年】

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	500 100.0	107 21.4	137 27.4	98 19.6	37 7.4	67 13.4	8 1.6	17 3.4	29 5.8
習い事・学習塾	460 100.0	92 20.0	203 44.1	104 22.6	34 7.4	12 2.6	3 0.7	-	12 2.6
祖父母宅や友人・知人宅	163 100.0	80 49.1	46 28.2	19 11.7	3 1.8	2 1.2	-	-	13 8.0
こどもルーム（学童保育所）	72 100.0	4 5.6	12 16.7	18 25.0	5 6.9	22 30.6	5 6.9	-	6 8.3
児童センター	62 100.0	37 59.7	13 21.0	3 4.8	1 1.6	1 1.6	-	-	7 11.3
放課後子ども教室	54 100.0	32 59.3	15 27.8	1 1.9	2 3.7	3 5.6	-	-	1 1.9
プレーパーク	29 100.0	21 72.4	4 13.8	1 3.4	2 6.9	-	-	-	1 3.4
ファミリー・サポート・センター	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-
その他（公民館、公園など）	324 100.0	82 25.3	123 38.0	72 22.2	17 5.2	12 3.7	-	2 0.6	16 4.9

※「自宅」「習い事・学習塾」「祖父母宅や友人・知人宅」「こどもルーム（学童保育所）」「児童センター」「放課後子ども教室」「その他（公民館、公園など）」の日数で最も多い割合に網掛けをしています。

過ごさせたい場所別に週間利用日数をみると、最も多いのは自宅で「2日」（27.4%）、習い事・学習塾で「2日」（44.1%）、祖父母宅や友人・知人宅で「1日」（49.1%）、こどもルーム（学童保育所）で「5日」（30.6%）、児童センターで「1日」（59.7%）、放課後子ども教室で「1日」（59.3%）、その他（公民館、公園など）で「2日」（38.0%）となっています。

●こどもルームの利用時間（下校時から）



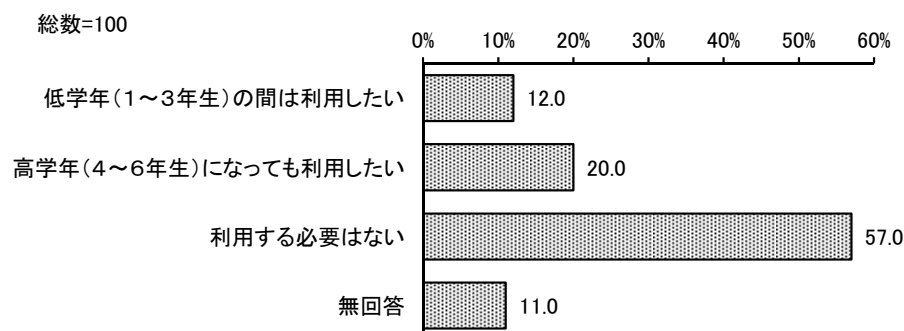
こどもルーム（学童保育所）の下校時からの利用時間は「18時台まで」が30.6%で最も多く、「19時台まで」が27.8%、「17時台まで」が19.4%が続いています。

問 17 土曜日・日曜日、長期休暇期間中のこどもルームの利用希望

問 15 または問 16 で「こどもルーム（学童保育所）」を選択した人に対する設問
 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期
 休暇期間中に、こどもルーム（学童保育所）の利用希望はありますか。なお、これらの事業の
 利用には、一定の利用料が発生します。（○は1つ）

①土曜日

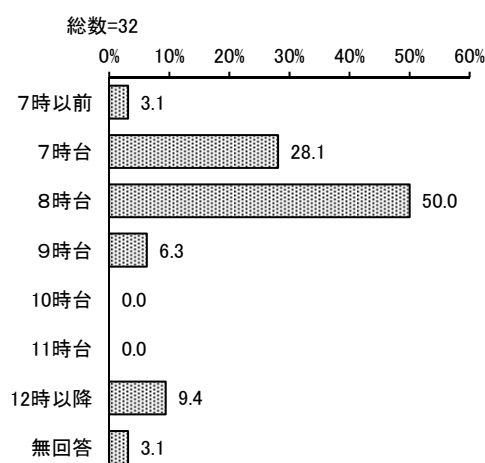
(1) 利用意向



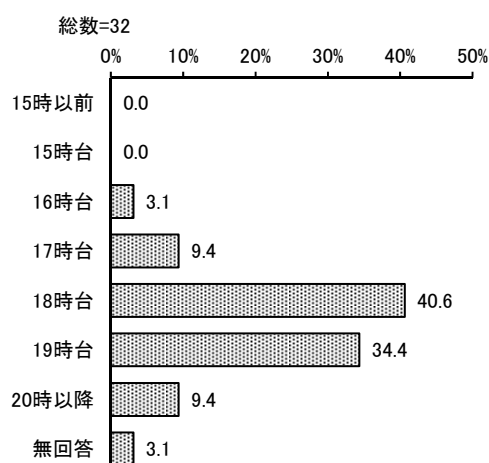
放課後に過ごさせたい場所として「こどもルーム」を選択した人に対して、土曜日の利用希望を聞いたところ、「低学年の間は利用したい」が 12.0%、「高学年になっても利用したい」が 20.0% であり、「利用する必要はない」は 57.0% です。

“利用したい”（「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」の合計）は 32.0% となっています。

(2) 利用したい時間帯（開始時間）



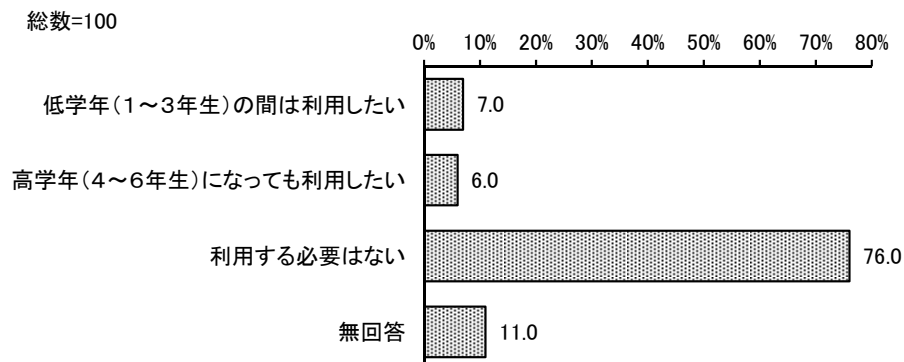
(3) 利用したい時間帯（終了時間）



土曜日にこどもルームを“利用したい”と回答した人の希望する利用開始時間は、「8時台」が 50.0% で最も多くなっています。また、利用終了時間は「18時台」が 40.6% で最も多くなっています。

②日曜・祝日

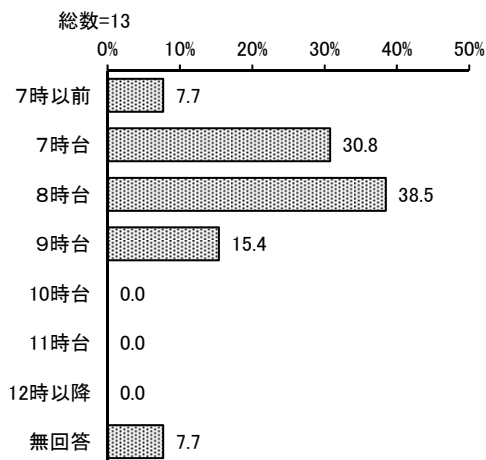
(1) 利用意向



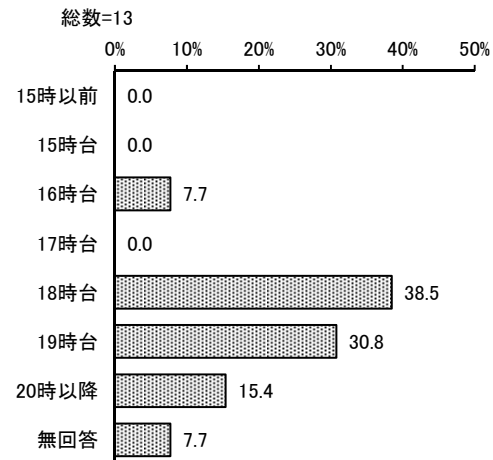
放課後に過ごさせたい場所として「こどもルーム」を選択した人に対して、日曜・祝日の利用希望を聞いたところ、「低学年の間は利用したい」が7.0%、「高学年になっても利用したい」が6.0%であり、「利用する必要はない」は76.0%を占めています。

“利用したい”（「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」の合計）は13.0%となっています。

(2) 利用したい時間帯（開始時間）



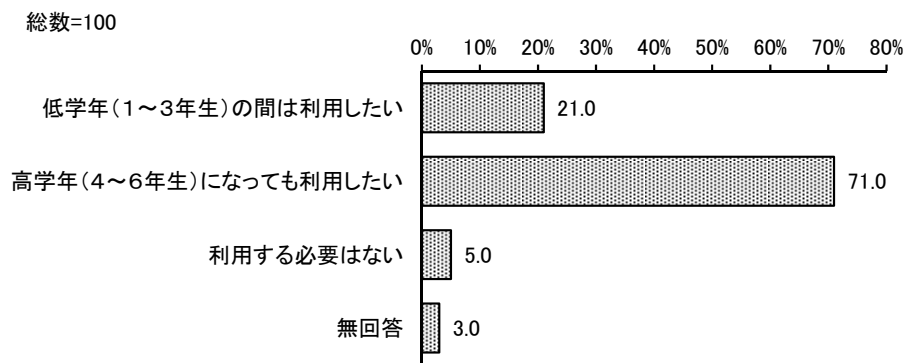
(3) 利用したい時間帯（終了時間）



日曜・祝日にこどもルームを“利用したい”と回答した人は13人であり、希望する利用開始時間は「8時台」、利用終了時間は「18時台」がそれぞれ38.5%（5人）です。

③夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

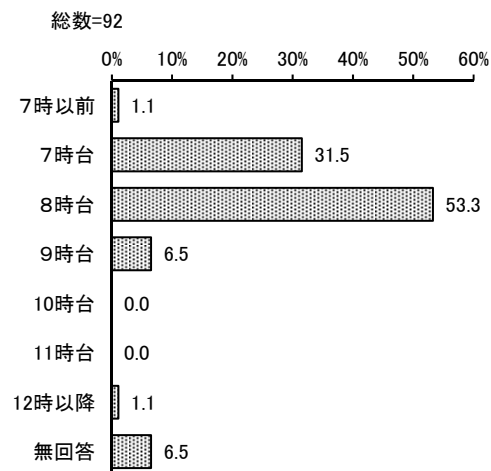
(1) 利用意向



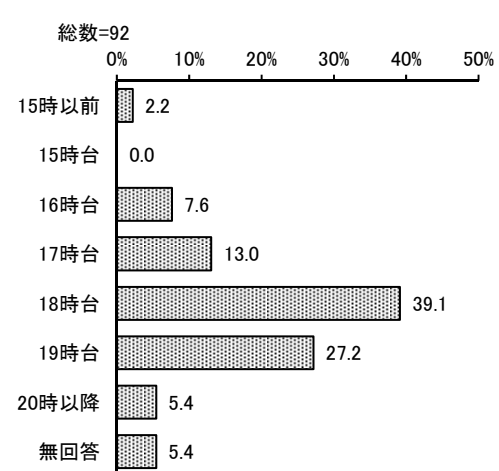
放課後に過ごさせたい場所として「こどもルーム」を選択した人に対して、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望を聞いたところ、「低学年の間は利用したい」が21.0%、「高学年になっても利用したい」が71.0%であり、「利用する必要はない」は5.0%です。

“利用したい”（「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」の合計）は92.0%となっています。

(2) 利用したい時間帯（開始時間）



(3) 利用したい時間帯（終了時間）

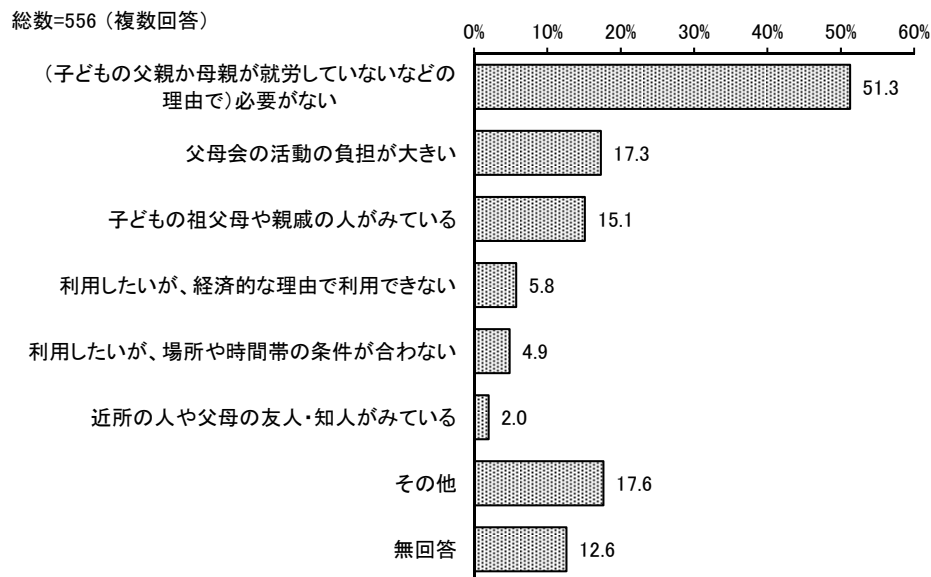


夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中にこどもルームを“利用したい”と回答した人の希望する利用開始時間は、「8時台」が53.3%で最も多くなっています。また、利用終了時間は「18時台」が39.1%で最も多くなっています。

問 18 こどもルームの利用を希望しない理由

放課後に過ごさせたい場所として「こどもルーム（学童保育所）」を選択していない人に対する設問

「こどもルーム（学童保育所）」の利用を希望しない理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

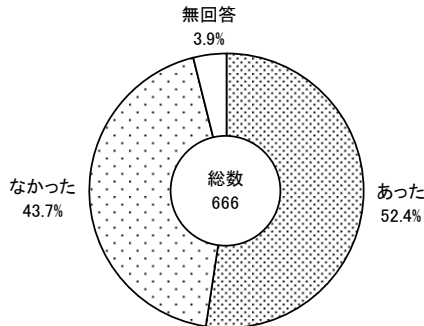


放課後に過ごさせたい場所として「こどもルーム」を選択しなかった人に対して、利用を希望しない理由を聞いたところ、「(子どもの父親か母親が就労していないなどの理由で) 必要がない」が 51.3%で最も多く、「父母会の活動の負担が大きい」が 17.3%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 15.1%で続いています。

3 子どもの病気の際の対応

問 19 病気・ケガにより学校やこどもルーム（学童保育所）を休んだことの有無

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、学校やこどもルーム（学童保育所）を休まなければならなかったことはありましたか。（〇は1つ）



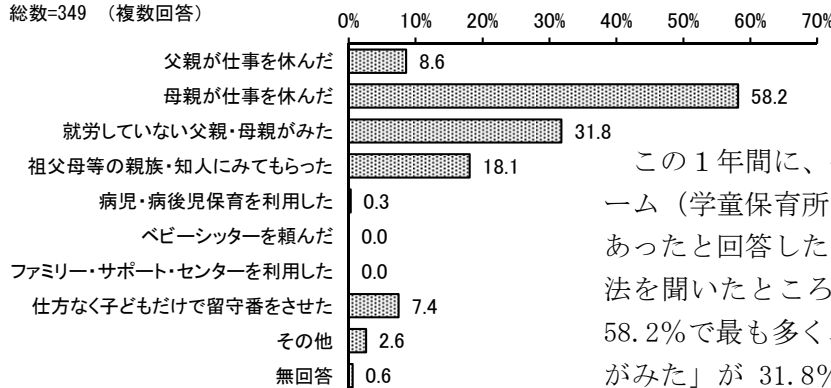
「あった」が52.4%、「なかった」が43.7%となっています。

問 19-1 対処方法

問 19 で学校やこどもルーム（学童保育所）が利用できなかったことがあったと回答した人に対する設問

この1年間、あて名のお子さんが病気やケガで学校やこどもルーム（学童保育所）を休まなければならなかったときの対処方法をお答えください。（あてはまるものすべてに〇をつけて、それぞれの日数を[]内に数字でご記入ください。）

総数=349（複数回答）



この1年間に、病気やケガで学校やこどもルーム（学童保育所）を利用できなかったことがあったと回答した人に対して、その際の対処方法を聞いたところ、「母親が仕事を休んだ」が58.2%で最も多く、「就労していない父親・母親がみた」が31.8%、「祖父母等の親族・知人にみてもらった」が18.1%で続いています。

〇年間対処日数（対処方法別）

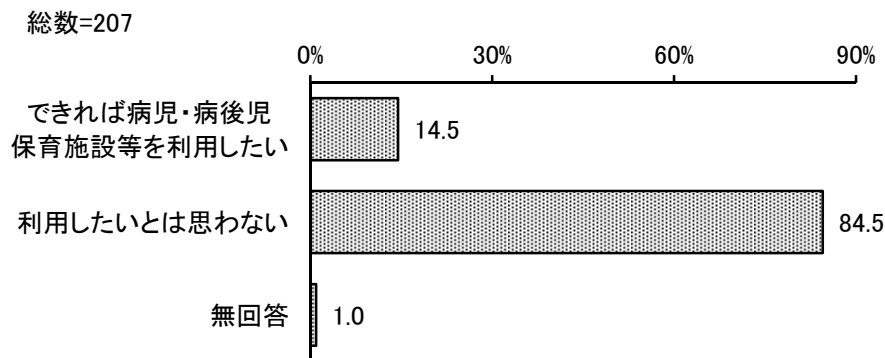
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11～15日	16～20日	以21日以上	無回答
父親が仕事を休んだ	30 100.0	14 46.7	8 26.7	2 6.7	2 6.7	4 13.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
母親が仕事を休んだ	203 100.0	48 23.6	49 24.1	29 14.3	7 3.4	27 13.3	1 0.5	9 4.4	-	-	7 3.4	-	4 2.0	1 0.5	21 10.3
就労していない父親・母親がみた	111 100.0	20 18.0	19 17.1	23 20.7	8 7.2	12 10.8	2 1.8	4 3.6	-	-	6 5.4	2 1.8	-	1 0.9	14 12.6
祖父母等の親族・知人にみてもらった	63 100.0	18 28.6	18 28.6	12 19.0	2 3.2	2 3.2	-	-	-	-	3 4.8	1 1.6	1 1.6	1 1.6	5 7.9
病児・病後児保育を利用した	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	26 100.0	16 61.5	2 7.7	3 11.5	1 3.8	3 11.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1 3.8
その他	9 100.0	2 22.2	1 11.1	2 22.2	-	1 11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	3 33.3

※「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」「就労していない父親・母親がみた」「祖父母等の親族・知人にみてもらった」の日数で最も多い割合に網掛けをしています。

問 19-2 病児・病後児保育施設等の利用意向

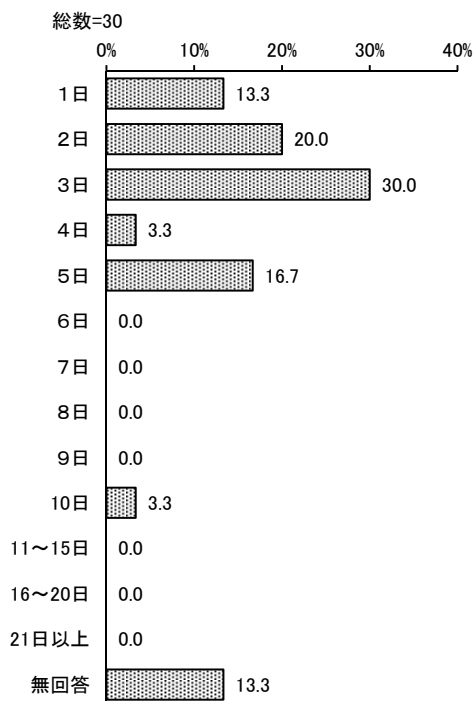
問 19-1 で父親または母親が仕事を休んだと回答した人に対する設問

その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが。利用したいと思った場合は、おおよその利用日数を[]内に数字でご記入ください。(○は1つ)



この1年間に、病気やケガで学校やこどもルーム（学童保育所）を利用できなかったことがあり、父親または母親が仕事を休んで対処したと回答した人に対して、その際に病児・病後児のための保育施設を利用したかどうかを聞いたところ、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が14.5%、「利用したいとは思わない」が84.5%となっています。

【利用希望日数】

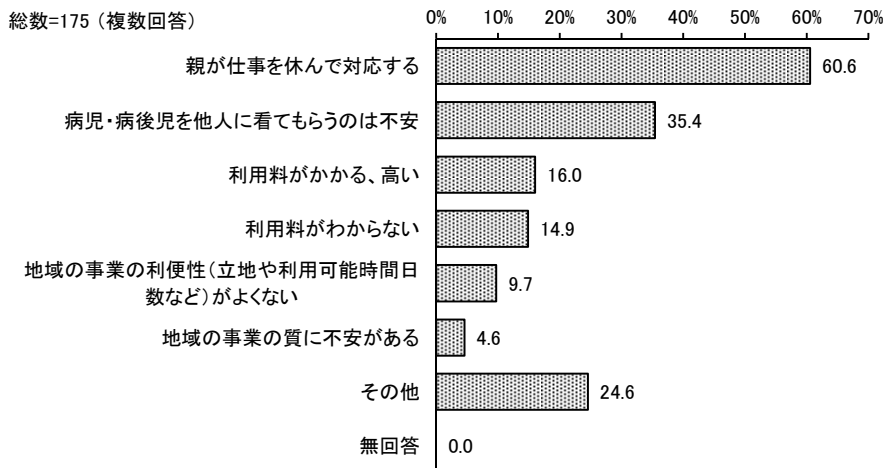


病児・病後児のための保育施設を利用したかったと回答した人の利用希望日数については、「3日」が30.0%で最も多く、「2日」が20.0%で続いています。

問 19-3 病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由

問 19-2 で病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わないと回答した人に対する設問

利用したいとは思わない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



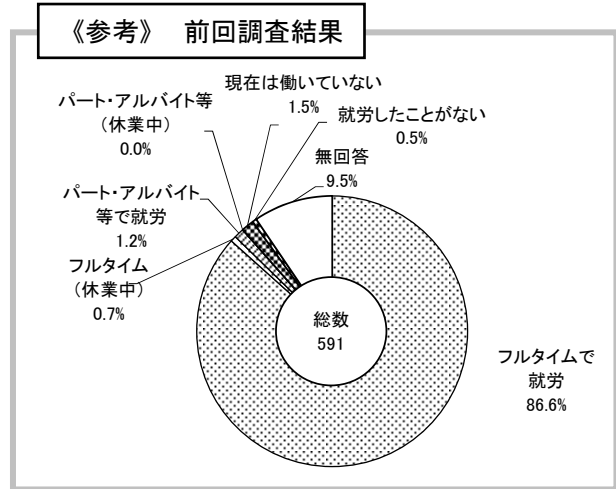
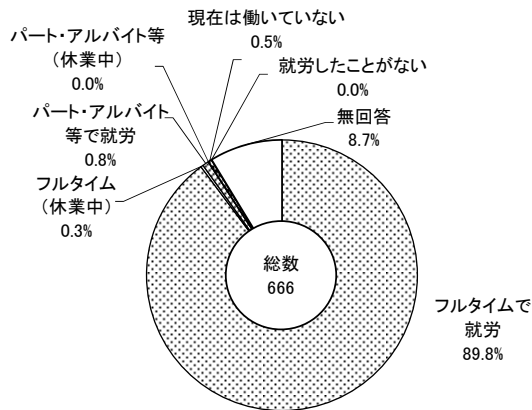
病児・病後児のための保育施設を利用したいとは思わないと回答した人に対して、その理由を聞いたところ、「親が仕事を休んで対応する」が60.6%で最も多く、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が35.4%、「利用料がかかる、高い」が16.0%で続いています。

4 保護者の就労状況

問 20 父親・母親の就労状況

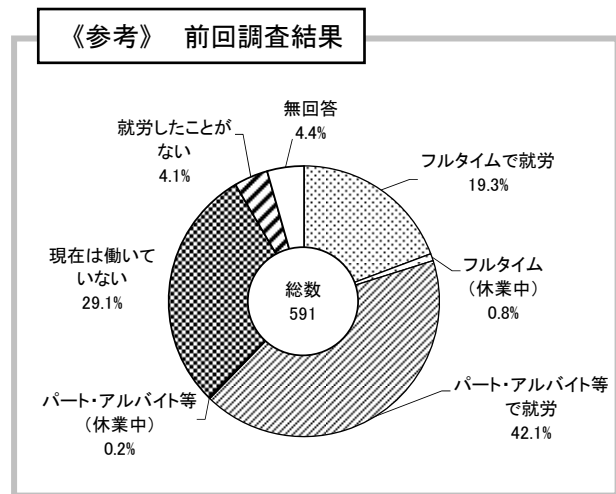
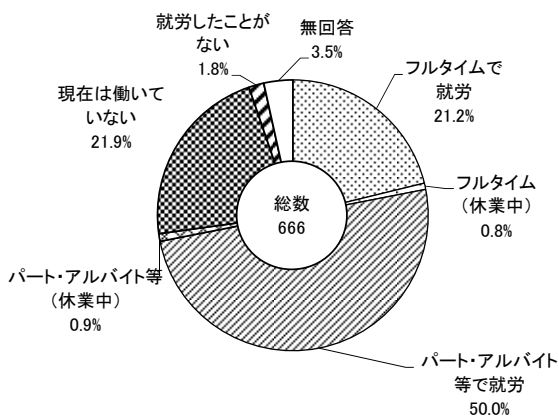
あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従業者含む）をうかがいます。（○は1つ）

①父親



「フルタイムで就労」が89.8%を占めており、このほかの回答はいずれも1%に達していません。前回調査でも「フルタイムで就労」が86.6%となっています。

②母親



「パート・アルバイト等で就労」が50.0%で最も多く、「現在は働いていない」が21.9%、「フルタイムで就労」が21.2%が続いています。前回調査では「パート・アルバイト等で就労」が42.1%で、今回調査の「パート・アルバイト等で就労」は前回調査を7ポイント上回っています。

- ・フルタイムで就労：「フルタイムで就労しており、(産休)・育休・介護休業中ではない」
- ・フルタイム(休業中)：「フルタイムで就労していたが、(産休)・育休・介護休業中である」
- ・パート・アルバイト等で就労：「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、(産休)・育休・介護休業中ではない」
- ・パート・アルバイト等(休業中)：「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労していたが、(産休)・育休・介護休業中である」
- ・現在は働いていない：「以前は就労していたが、現在は働いていない」
- ・就労したことがない：「これまでに就労したことがない」

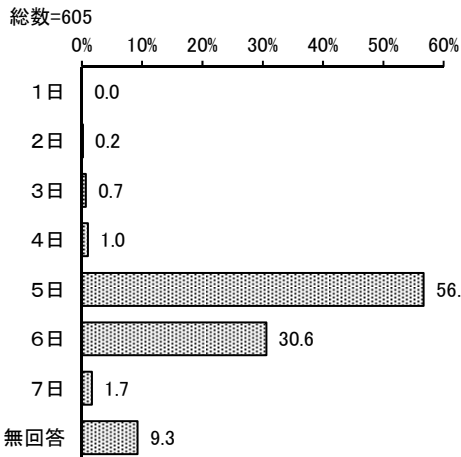
問 20-1 1 週あたりの就労日数、1 日あたりの勤務時間

問 20 で就労していると回答した人に対する設問

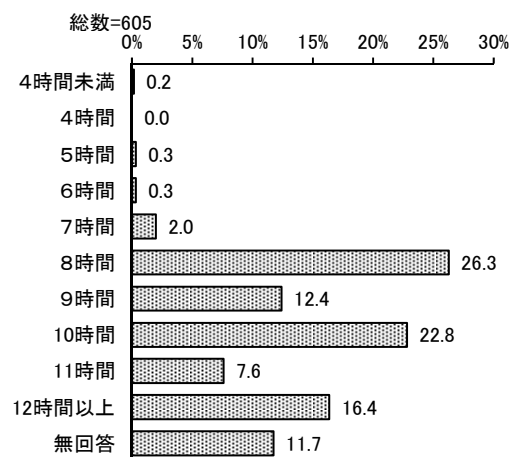
「1 週あたりの就労日数」と「1 日あたりの勤務時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や勤務時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（[]内に数字でご記入ください）

①父親

(1) 1 週あたりの就労日数



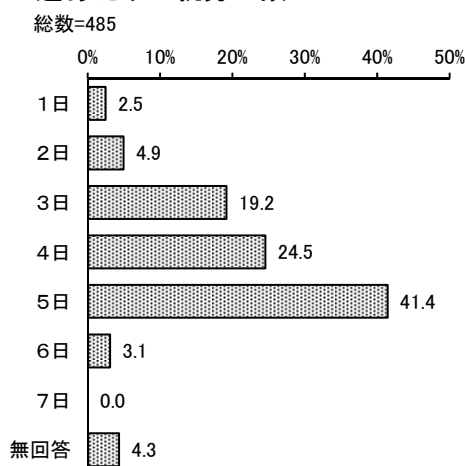
(2) 1 日あたりの勤務時間



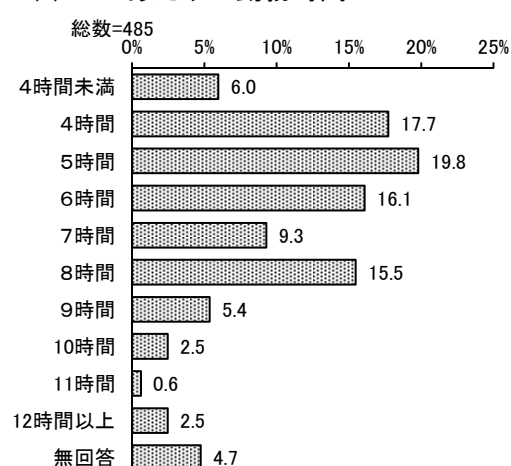
現在就労していると回答した父親に対して、1 週あたりの就労日数と1 日あたりの勤務時間を聞いたところ、就労日数は「5 日」が 56.7%で最も多く、「6 日」が 30.6%が続いています。勤務時間は「8 時間」が 26.3%で最も多く、「10 時間」が 22.8%、「12 時間以上」が 16.4%が続いており、勤務時間が 10 時間以上という回答が 5 割弱となっています。

②母親

(1) 1 週あたりの就労日数



(2) 1 日あたりの勤務時間



現在就労していると回答した母親に対して、1 週あたりの就労日数と1 日あたりの勤務時間を聞いたところ、就労日数は「5 日」が 41.4%で最も多く、「4 日」が 24.5%、「3 日」が 19.2%が続いています。勤務時間は「5 時間」が 19.8%で最も多く、「4 時間」が 17.7%、「6 時間」が 16.1%が続いており、4～6 時間という回答が 5 割強となっています。

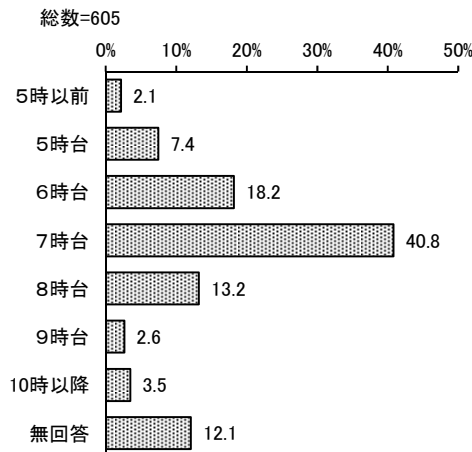
問 20-2 家を出る時刻、帰宅する時刻

問 20 で就労していると回答した人に対する設問

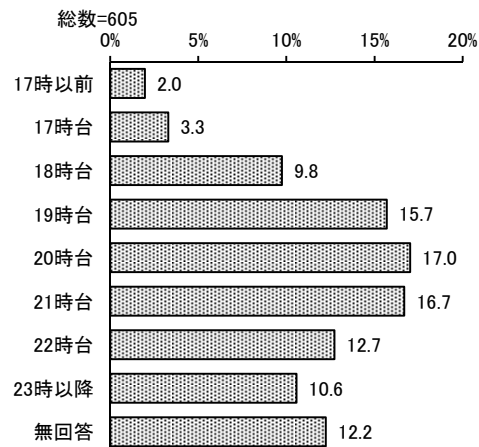
「家を出る時刻」と「帰宅時刻」をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。〔 〕内に数字でご記入ください。時刻は 24 時間制でご記入ください（例・18 時）

①父親

(1) 家を出る時刻



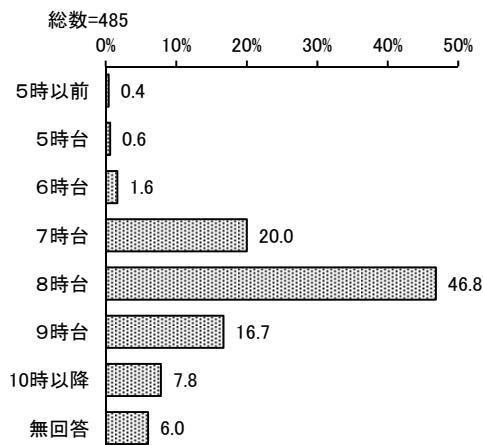
(2) 帰宅時刻



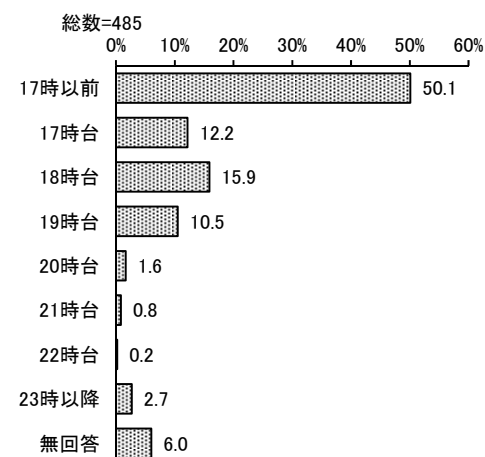
現在就労していると回答した父親に対して、家を出る時刻と帰宅時刻を聞いたところ、家を出る時刻は「7 時台」が 40.8%で最も多く、「6 時台」が 18.2%、「8 時台」が 13.2%が続いています。帰宅時刻については、「20 時台」が 17.0%、「21 時台」が 16.7%でともに多く、「19 時台」が 15.7%が続いています。

②母親

(1) 家を出る時刻



(2) 帰宅時刻



現在就労していると回答した母親に対して、家を出る時刻と帰宅時刻を聞いたところ、家を出る時刻は「8 時台」が 46.8%で最も多く、「7 時台」が 20.0%、「9 時台」が 16.7%が続いています。帰宅時刻については、「17 時以前」が 50.1%で最も多く、「18 時台」が 15.9%、「17 時台」が 12.2%が続いています。

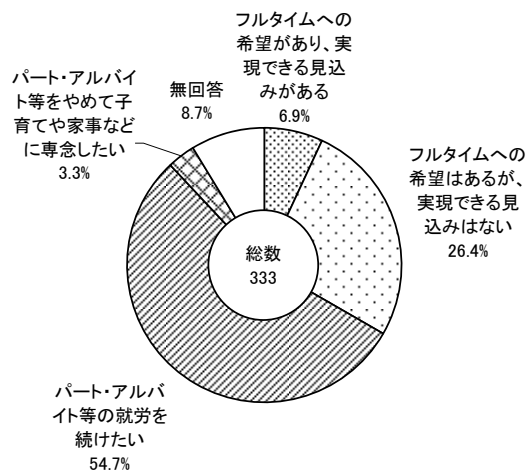
問 20-3 パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望

問 20 でパート・アルバイト等で就労していると回答した人に対する設問
フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

①父親

パート・アルバイト等で就労していると回答した父親に対して、フルタイムへの転換希望を聞いたところ、回答者5人のうち2人が「パート・アルバイト等の就労を続けたい」、1人が「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」と回答しています。

②母親



パート・アルバイト等で就労していると回答した母親に対して、フルタイムへの転換希望を聞いたところ、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が54.7%で最も多く、「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」が26.4%、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」が6.9%で続いています。

問 20-4 就労していない、就労したことがない人の今後の就労希望

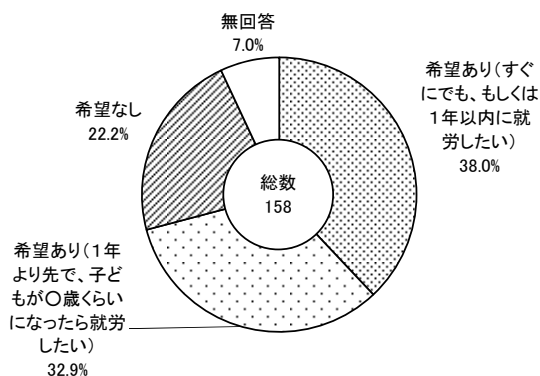
問 20 で就労していない、就労したことがないと回答した人に対する設問
今後の就労についての希望をお聞かせください。(1～3のうち〇は1つ、[]内に数字でご記入ください)

①父親

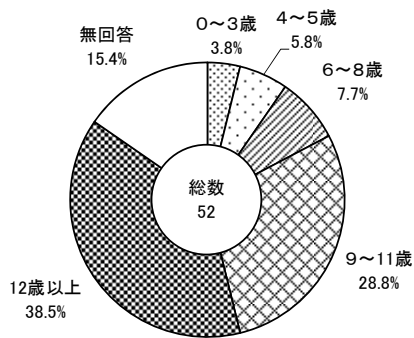
現在就労していないと回答した父親に対して、今後の就労希望を聞いたところ、回答者3人も「希望あり(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)」と回答しています。

就労形態は「フルタイム」が1人、「パートタイム、アルバイト等」が2人となっています。

②母親



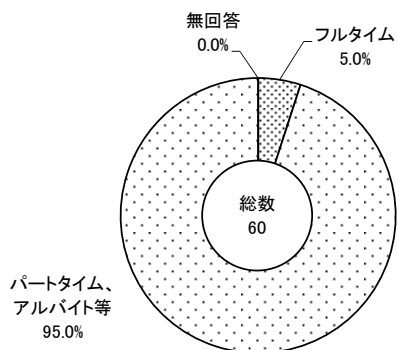
現在就労していないと回答した母親に対して、今後の就労希望を聞いたところ、「希望あり(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)」が38.0%で最も多く、「希望あり(1年より先で、子どもが〇歳くらいになったら就労したい)」が32.9%、「希望なし」が22.2%で続いています。



子どもが大きくなってから就労したいと回答した母親が希望する子どもの年齢は、「12歳以上」が38.5%で最も多く、「9～11歳」が28.8%、「6～8歳」が7.7%が続いています。

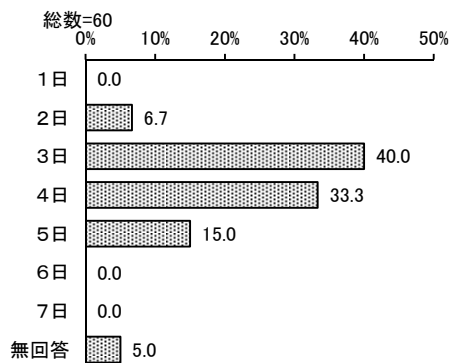
(1) 1年以内に就労したい母親

●就労形態

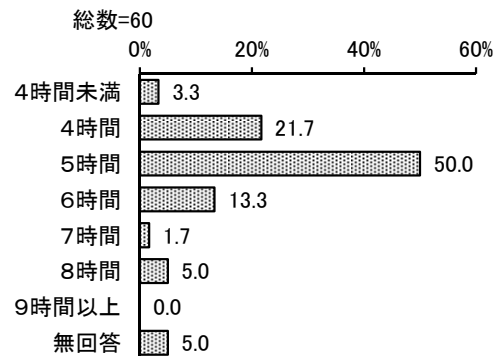


すぐにも、もしくは1年以内に就労したいと回答した母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が95.0%を占めており、「フルタイム」は5.0%です。

●就労日数（1週あたり）



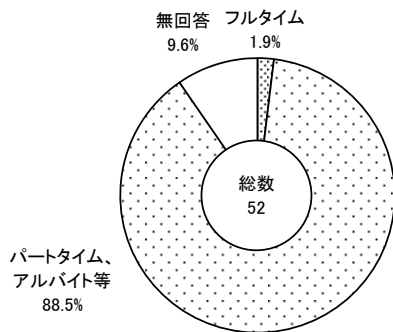
●就労時間数（1日あたり）



パートタイム、アルバイト等の場合の就労日数は「3日」が40.0%、「4日」が33.3%であり、就労時間数は「5時間」が50.0%となっています。

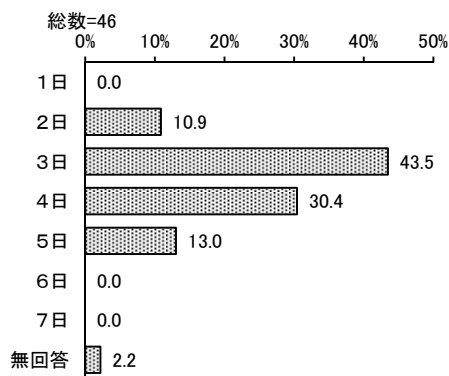
(2) 1年より先で就労したい母親

●就労形態

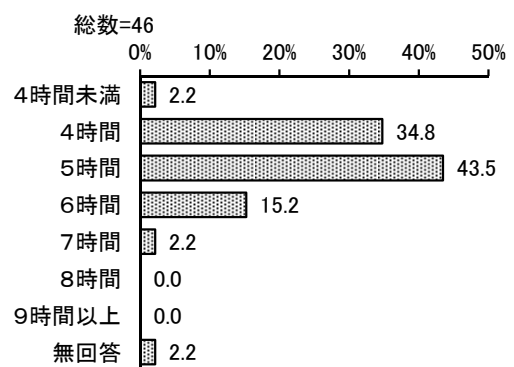


1年より先で就労したいと回答した母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が88.5%を占めており、「フルタイム」は1.9%です。

●就労日数（1週あたり）



●就労時間数（1日あたり）

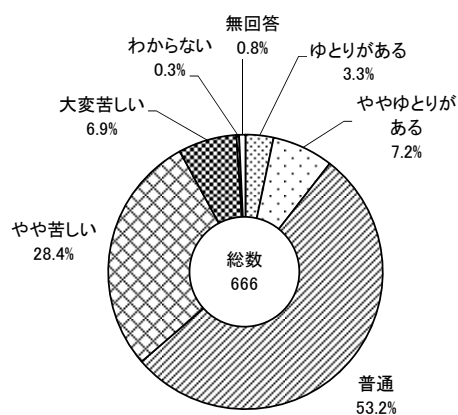


パートタイム・アルバイト等の場合の就労日数は「3日」が43.5%、「4日」が30.4%であり、就労時間数は「5時間」が43.5%、「4時間」が34.8%となっています。

5 家庭の経済状況等

問 21 家庭の主観的経済状況

現在の家計の状況を総合的にみて、どう感じますか。(〇は1つ)



“ゆとりあり”（「ゆとりがある」「ややゆとりがある」の合計）が 10.5%、「普通」が 53.2%、「苦しい」（「やや苦しい」「大変苦しい」の合計）が 35.3%となっています。

〇家庭の主観的経済状況（家庭形態別）

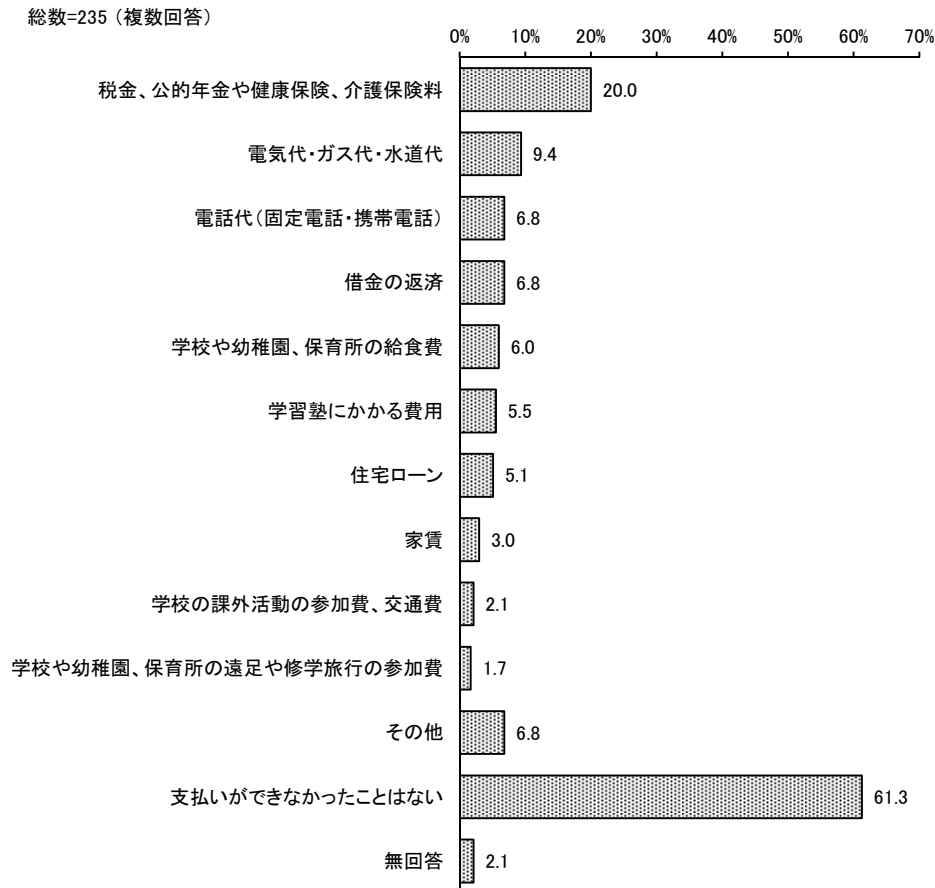
		全体	ゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	大変苦しい	わからない	無回答	ゆとりあり	普通	苦しい
全体		666	22	48	354	189	46	2	5	70	354	235
		100.0	3.3	7.2	53.2	28.4	6.9	0.3	0.8	10.5	53.2	35.3
ひとり親家庭	ひとり親家庭	61	-	1	17	29	13	-	1	1	17	42
	ひとり親家庭ではない	597	22	46	332	159	32	2	4	68	332	191
	無回答	8	-	1	5	1	1	-	-	1	5	2
		100.0	3.7	7.7	55.6	26.6	5.4	0.3	0.7	11.4	55.6	32.0
		100.0	-	12.5	62.5	12.5	12.5	-	-	12.5	62.5	25.0

※家庭形態別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

家庭の主観的経済状況を家庭形態別にみると、ひとり親家庭の“苦しい”の割合は68.9%を占めており、ひとり親家庭ではない回答者を36ポイント上回っています。

問 21-1 経済的理由から支払いができなかった経験

問 21 で経済状況が苦しいと回答した人に対する設問
 次の費用のうち、この1年間に経済的理由のために支払いができなかったものはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

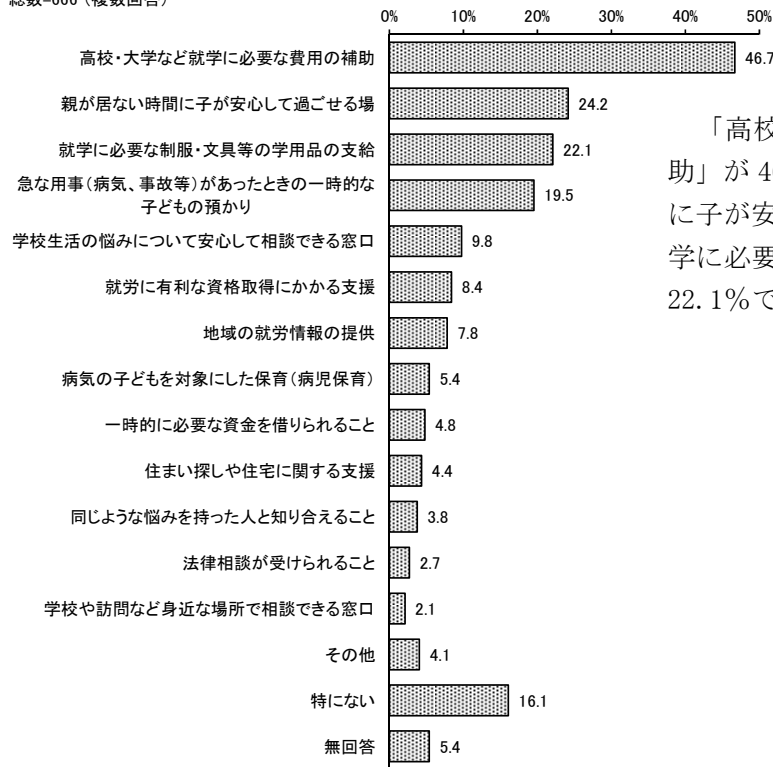


家計の状況が“苦しい”と回答した人に対して、この1年間に経済的理由で支払いができなかったものについて聞いたところ、支払いができなかったものとして「税金、公的年金や健康保険、介護保険料」が20.0%で最も多く、「電気代・ガス代・水道代」が9.4%、「電話代(固定電話・携帯電話)」「借金の返済」がそれぞれ6.8%が続いています。「支払いができなかったことはない」は61.3%となっています。

問 22 特に必要としている公的な支援

あなたが現在、特に必要としている支援として、どのようなことがありますか。(〇は3つまで)

総数=666 (複数回答)



「高校・大学など就学に必要な費用の補助」が46.7%で最も多く、「親が居ない時間に子が安心して過ごせる場」が24.2%、「就学に必要な制服・文具等の学用品の支給」が22.1%で続いています。

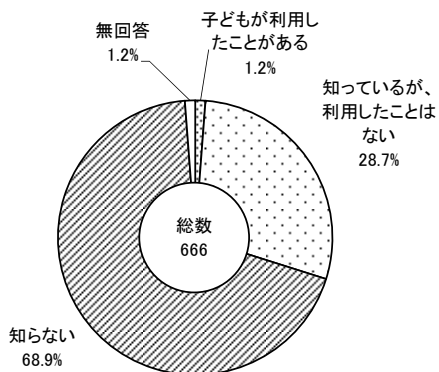
〇特に必要としている公的な支援 (家庭の経済状況別、家庭形態別)

	全体	地域の就労情報の提供	就労に有利な資格取得にかかる支援	高校・大学など就学に必要な費用の補助	就学に必要な学用品の支給	一時的に必要な資金を借りられること	住まい探しや住宅に関する支援	学校生活の悩みについて安心して相談できる窓口	学校や訪問など身近な場所で相談できる窓口	法律相談が受けられること	同じような悩みを持った人と知り合えること	親が居ない時間に子が安心して過ごせる場	急な用事(病気、事故等)があったときの一時的な子どもの預かり	病気の子どもを対象にした保育(病児保育)	その他	特にない	無回答	
全体	666 100.0	52 7.8	56 8.4	311 46.7	147 22.1	32 4.8	29 4.4	65 9.8	14 2.1	18 2.7	25 3.8	161 24.2	130 19.5	36 5.4	27 4.1	107 16.1	36 5.4	
経済状況	ゆとりあり	70 100.0	3 4.3	6 8.6	22 31.4	10 14.3	1 1.4	-	10 14.3	1 1.4	2 2.9	3 4.3	12 17.1	2 2.9	7 10.0	17 24.3	3 4.3	
	普通	354 100.0	29 8.2	28 7.9	163 46.0	66 18.6	4 1.1	15 4.2	33 9.3	11 3.1	8 2.3	13 3.7	97 27.4	66 18.6	19 5.4	14 4.0	69 19.5	10 2.8
	苦しい	235 100.0	20 8.5	22 9.4	125 53.2	70 29.8	27 11.5	14 6.0	22 9.4	2 0.9	8 3.4	9 3.8	52 22.1	47 20.0	15 6.4	6 2.6	20 8.5	18 7.7
	経済的困難あり	86 100.0	6 7.0	4 4.7	41 47.7	28 32.6	20 23.3	7 8.1	9 10.5	1 1.2	2 2.3	1 1.2	18 20.9	16 18.6	5 5.8	1 1.2	4 4.7	12 14.0
	経済的困難なし	144 100.0	14 9.7	18 12.5	82 56.9	40 27.8	7 4.9	7 4.9	13 9.0	1 0.7	5 3.5	8 5.6	33 22.9	29 20.1	8 5.6	5 3.5	16 11.1	5 3.5
	無回答	5 100.0	-	-	2 40.0	2 40.0	-	-	-	-	-	1 20.0	-	2 40.0	2 40.0	-	-	20.0
	わからない	2 100.0	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	50.0	-
無回答	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
ひとり親家庭	ひとり親家庭	61 100.0	6 9.8	4 6.6	34 55.7	20 32.8	6 9.8	3 4.9	3 4.9	1 1.6	4 6.6	4 19.7	12 26.2	16 11.5	7 3.3	2 3.3	2 13.1	8
	ひとり親家庭ではない	597 100.0	46 7.7	52 8.7	275 46.1	127 21.3	26 4.4	26 4.4	62 10.4	13 2.2	14 2.3	21 3.5	148 24.8	113 18.9	29 4.9	25 4.2	102 17.1	26 4.4
	無回答	8 100.0	-	-	2 25.0	-	-	-	-	-	-	-	1 12.5	1 12.5	-	-	3 37.5	2 25.0

※家庭の経済状況別、家庭形態別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

問 23 子ども食堂の認知

現在、市内では地域の社会福祉協議会（四街道中地区）が運営する「子ども食堂」（子どもが一人でも利用でき、安い値段で食事ができるという取組）が行われていますが、この取組を知っていますか。（○は1つ）



「子どもが利用したことがある」が 1.2%、「知っているが、利用したことはない」が 28.7%であり、回答者全体のほぼ3割が子ども食堂を認知していることがわかります。「知らない」は 68.9%を占めています。

○子ども食堂の認知（家庭の経済状況別）

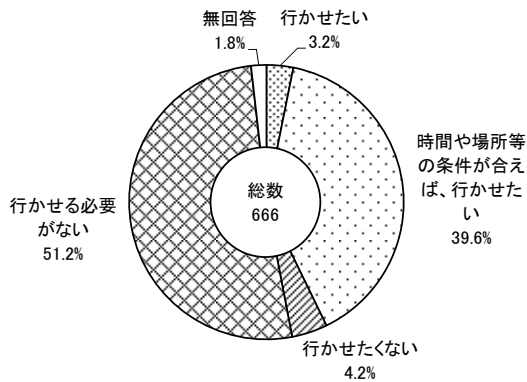
	全体	子どもが利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない	無回答
全体	666 100.0	8 1.2	191 28.7	459 68.9	8 1.2
経済状況	ゆとりあり	70 100.0	-	24 34.3	46 65.7
	普通	354 100.0	7 2.0	96 27.1	251 70.9
	苦しい	235 100.0	1 0.4	71 30.2	160 68.1
	わからない	2 100.0	-	-	2 100.0
	無回答	5 100.0	-	-	-

子ども食堂の認知状況を家庭の経済状況別にみると、子ども食堂を認知しているのは経済状況を問わず3割前後となっています。経済状況にゆとりがあるという回答者では、「知っているが、利用したことはない」が 34.3%であり、回答者全体の割合を5ポイント上回っています。

※家庭の経済状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

問 24 子ども食堂の利用意向

あなたは、あて名のお子さんをこのような「子ども食堂」に行かせたいと思いますか。(〇は1つ)



「行かせたい」が3.2%、「時間や場所等の条件が合えば、行かせたい」が39.6%であり、回答者全体の4割強に子ども食堂のニーズがあることがわかります。「行かせる必要がない」は51.2%です。

〇利用意向（家庭の経済状況別）

	全体	行かせたい	時間や場所等の条件が合えば、行かせたい	行かせたくない	行かせる必要がない	無回答	
全体	666 100.0	21 3.2	264 39.6	28 4.2	341 51.2	12 1.8	
経済状況	ゆとりあり	70 100.0	2 2.9	18 25.7	4 5.7	46 65.7	-
	普通	354 100.0	10 2.8	136 38.4	12 3.4	194 54.8	2 0.6
	苦しい	235 100.0	9 3.8	110 46.8	12 5.1	99 42.1	5 2.1
	わからない	2 100.0	-	-	-	2 100.0	-
	無回答	5 100.0	-	-	-	-	5 100.0

子ども食堂の利用意向を家庭の経済状況別にみると、経済状況が苦しいと回答した人ほど「行かせたい」または「時間や場所等の条件が合えば、行かせたい」の割合が高くなっており、経済状況が苦しい回答者では50.6%で回答者全体の割合を7ポイント上回っています。

※家庭の経済状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

〇利用意向（家庭形態別）

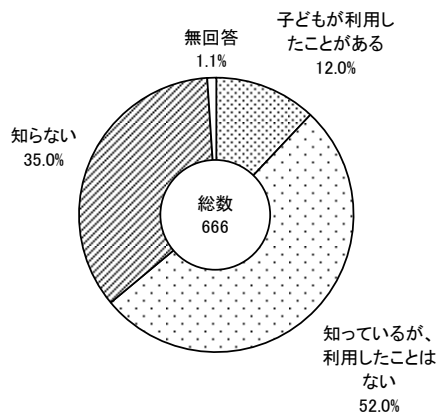
	全体	行かせたい	時間や場所等の条件が合えば、行かせたい	行かせたくない	行かせる必要がない	無回答	
全体	666 100.0	21 3.2	264 39.6	28 4.2	341 51.2	12 1.8	
ひとり親家庭	ひとり親家庭	61 100.0	3 4.9	31 50.8	5 8.2	20 32.8	2 3.3
	ひとり親家庭ではない	597 100.0	18 3.0	231 38.7	23 3.9	315 52.8	10 1.7
	無回答	8 100.0	-	2 25.0	-	6 75.0	-

子ども食堂の利用意向を家庭形態別にみると、ひとり親家庭の「行かせたい」または「時間や場所等の条件が合えば、行かせたい」の割合は55.7%であり、ひとり親家庭ではない回答者を14ポイント上回っています。

※家庭形態別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

問 25 無料塾の認知

現在、市内では学生ボランティアによる「寺子屋」や、地域の社会福祉協議会による中学生を対象とした学習支援の取組が行われていますが、この取組を知っていますか。(○は1つ)



「子どもが利用したことがある」が12.0%、「知っているが、利用したことはない」が52.0%であり、回答者全体の6割強が無料塾の取組を認知していることがわかります。「知らない」は35.0%です。

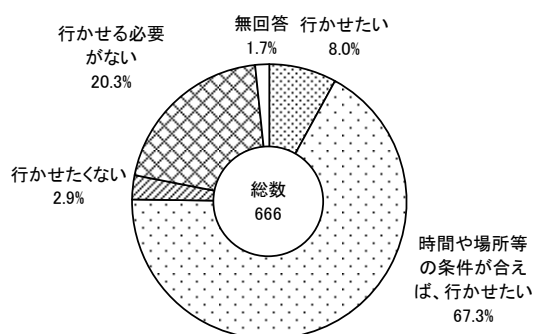
○無料塾の認知 (家庭の経済状況別)

		全体	子どもが利用したことがある	利用しているが、利用したことはない	知らない	無回答
全体		666 100.0	80 12.0	346 52.0	233 35.0	7 1.1
経済状況	ゆとりあり	70 100.0	5 7.1	39 55.7	26 37.1	-
	普通	354 100.0	41 11.6	190 53.7	123 34.7	-
	苦しい	235 100.0	34 14.5	116 49.4	83 35.3	2 0.9
	わからない	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-
	無回答	5 100.0	-	-	-	5 100.0

無料塾の認知状況を家庭の経済状況別にみると、無料塾を認知しているのは経済状況を問わず6割台となっています。

問 26 無料塾の利用意向

あなたは、あて名のお子さんをこれらの学習支援の取組に行かせたいと思いますか。(〇は1つ)



「行かせたい」が 8.0%、「時間や場所等の条件が合えば、行かせたい」が 67.3%であり、回答者全体の7割台半ばに無料塾のニーズがあることがわかります。「行かせる必要がない」は 20.3%です。

○利用意向（家庭の経済状況別）

	全体	行かせたい	条件や時間や場所等が合えば、行かせたい	行かせたくない	行かせる必要がない	無回答	
全体	666 100.0	53 8.0	448 67.3	19 2.9	135 20.3	11 1.7	
経済状況	ゆとりあり	70 100.0	2 2.9	41 58.6	1 1.4	26 37.1	-
	普通	354 100.0	23 6.5	245 69.2	11 3.1	73 20.6	2 0.6
	苦しい	235 100.0	28 11.9	161 68.5	7 3.0	35 14.9	4 1.7
	わからない	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-
	無回答	5 100.0	-	-	-	-	5 100.0

無料塾の利用意向を家庭の経済状況別にみると、経済状況が苦しいと回答した人ほど「行かせたい」または「時間や場所等の条件が合えば、行かせたい」の割合が高くなっており、経済状況が苦しい回答者では 80.4%となっています。一方、ゆとりがあるという回答者では「行かせる必要がない」が 37.1%であり、回答者全体の割合を 16 ポイント上回っています。

※家庭の経済状況別の割合が全体の割合を 5 ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

○利用意向（家庭形態別）

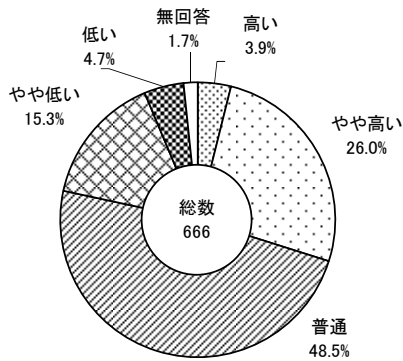
	全体	行かせたい	条件や時間や場所等が合えば、行かせたい	行かせたくない	行かせる必要がない	無回答	
全体	666 100.0	53 8.0	448 67.3	19 2.9	135 20.3	11 1.7	
ひとり親家庭	ひとり親家庭	61 100.0	7 11.5	44 72.1	-	8 13.1	2 3.3
	ひとり親家庭ではない	597 100.0	46 7.7	397 66.5	19 3.2	126 21.1	9 1.5
	無回答	8 100.0	-	7 87.5	-	1 12.5	-

無料塾の利用意向を家庭形態別にみると、ひとり親家庭の「行かせたい」または「時間や場所等の条件が合えば、行かせたい」の割合は 83.6%であり、ひとり親家庭ではない回答者を 9 ポイント上回っています。

6 子育てに関する市への意見等

問 27 住まいの地域における子育て支援や環境の満足度

お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、いかがですか。(〇は1つ)



「普通」が48.5%で最も多くなっており、「やや高い」「高い」を合わせた割合は29.9%、「低い」「やや低い」を合わせた割合は20.0%となっています。

回答を数値化(高い=5点、やや高い=4点、普通=3点、やや低い=2点、低い=1点)して平均を算出すると3.1点となります。

○満足度（居住地区別）

	全体	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無回答	満足	普通	不満	平均点	
								割合	割合	割合		
全体	666	26	173	323	102	31	11	199	323	133	3.1	
	100.0	3.9	26.0	48.5	15.3	4.7	1.7	29.9	48.5	20.0		
居住地区	四街道小学校区	94	5	25	48	11	3	2	30	48	14	3.2
		100.0	5.3	26.6	51.1	11.7	3.2	2.1	31.9	51.1	14.9	
	旭小学校区	30	1	8	16	4	1	-	9	16	5	3.1
		100.0	3.3	26.7	53.3	13.3	3.3	-	30.0	53.3	16.7	
	南小学校区	50	2	12	24	7	3	2	14	24	10	3.1
		100.0	4.0	24.0	48.0	14.0	6.0	4.0	28.0	48.0	20.0	
	中央小学校区	98	6	26	47	14	3	2	32	47	17	3.2
		100.0	6.1	26.5	48.0	14.3	3.1	2.0	32.7	48.0	17.3	
	大日小学校区	62	2	17	31	7	3	2	19	31	10	3.1
		100.0	3.2	27.4	50.0	11.3	4.8	3.2	30.6	50.0	16.1	
	八木原小学校区	59	3	14	29	11	1	1	17	29	12	3.1
		100.0	5.1	23.7	49.2	18.6	1.7	1.7	28.8	49.2	20.3	
	四和小学校区	68	3	15	33	15	2	-	18	33	17	3.0
		100.0	4.4	22.1	48.5	22.1	2.9	-	26.5	48.5	25.0	
山梨小学校区	13	-	5	6	2	-	-	5	6	2	3.2	
	100.0	-	38.5	46.2	15.4	-	-	38.5	46.2	15.4		
みそら小学校区	20	-	5	10	4	1	5	5	10	5	3.0	
	100.0	-	25.0	50.0	20.0	5.0	-	25.0	50.0	25.0		
栗山小学校区	26	1	4	15	4	2	-	5	15	6	2.9	
	100.0	3.8	15.4	57.7	15.4	7.7	-	19.2	57.7	23.1		
和良比小学校区	90	1	29	41	12	5	2	30	41	17	3.1	
	100.0	1.1	32.2	45.6	13.3	5.6	2.2	33.3	45.6	18.9		
吉岡小学校区	31	2	5	12	7	5	-	7	12	12	2.7	
	100.0	6.5	16.1	38.7	22.6	16.1	-	22.6	38.7	38.7		
無回答	25	-	8	11	4	2	-	8	11	6	3.0	
	100.0	-	32.0	44.0	16.0	8.0	-	32.0	44.0	24.0		

※“満足”「普通」“不満”の居住地区別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

満足度を居住地区別にみると、ほとんどの地区で「普通」が4割から5割台で最も多くなっているほか、“満足”(「高い」「やや高い」の合計)が“不満”(「低い」「やや低い」の合計)を上回っています。四和小学校区では“不満”の割合が25.0%で全体を5ポイント上回っている一方で、四街道小学校区(14.9%)では全体を5ポイント下回っています。

回答を数値化して平均を算出すると、吉岡小学校区の平均点は2.7点にとどまっています。

○満足度（学年別）

		全体	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無回答	満足	普通	不満	平均点
全体		666 100.0	26 3.9	173 26.0	323 48.5	102 15.3	31 4.7	11 1.7	199 29.9	323 48.5	133 20.0	3.1
学年	小学1年生	114 100.0	4 3.5	35 30.7	50 43.9	18 15.8	7 6.1	-	39 34.2	50 43.9	25 21.9	3.1
	小学2年生	116 100.0	7 6.0	31 26.7	44 37.9	22 19.0	7 6.0	5 4.3	38 32.8	44 37.9	29 25.0	3.1
	小学3年生	108 100.0	5 4.6	24 22.2	52 48.1	21 19.4	3 2.8	3 2.8	29 26.9	52 48.1	24 22.2	3.1
	小学4年生	119 100.0	3 2.5	28 23.5	70 58.8	10 8.4	7 5.9	1 0.8	31 26.1	70 58.8	17 14.3	3.1
	小学5年生	106 100.0	4 3.8	26 24.5	59 55.7	14 13.2	2 1.9	1 0.9	30 28.3	59 55.7	16 15.1	3.2
	小学6年生	93 100.0	3 3.2	25 26.9	43 46.2	16 17.2	5 5.4	1 1.1	28 30.1	43 46.2	21 22.6	3.1
	無回答	10 100.0	-	4 40.0	5 50.0	1 10.0	-	-	4 40.0	5 50.0	1 10.0	3.3

※「満足」「普通」「不満」の学年別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

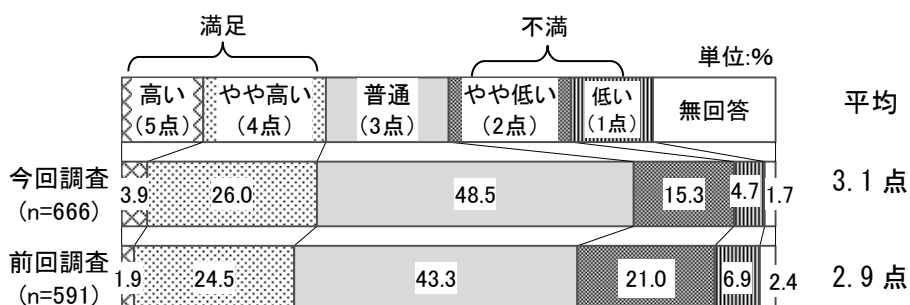
満足度を学年別にみると、各学年とも「普通」が最も多くなっているほか、「満足」が「不満」を上回っています。小学2年生では「不満」の割合が25.0%で全体を5ポイント上回っている一方で、小学4年生（14.3%）では全体を5ポイント下回っています。

○満足度（家庭の経済状況別）

		全体	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無回答	満足	普通	不満	平均点
全体		666 100.0	26 3.9	173 26.0	323 48.5	102 15.3	31 4.7	11 1.7	199 29.9	323 48.5	133 20.0	3.1
経済状況	ゆとりあり	70 100.0	5 7.1	18 25.7	36 51.4	9 12.9	2 2.9	-	23 32.9	36 51.4	11 15.7	3.2
	普通	354 100.0	12 3.4	94 26.6	178 50.3	47 13.3	18 5.1	5 1.4	106 29.9	178 50.3	65 18.4	3.1
	苦しい	235 100.0	7 3.0	60 25.5	107 45.5	46 19.6	10 4.3	5 2.1	67 28.5	107 45.5	56 23.8	3.0
	わからない	2 100.0	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	1 50.0	1 50.0	2.0
	無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	-	1 20.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	4.3

満足度を家庭の経済状況別にみると、経済状況が苦しいと回答した人ほど「満足」の割合が低く、「不満」の割合が高くなっており、経済状況が苦しい回答者では「満足」が28.5%、「不満」が23.8%となっています。

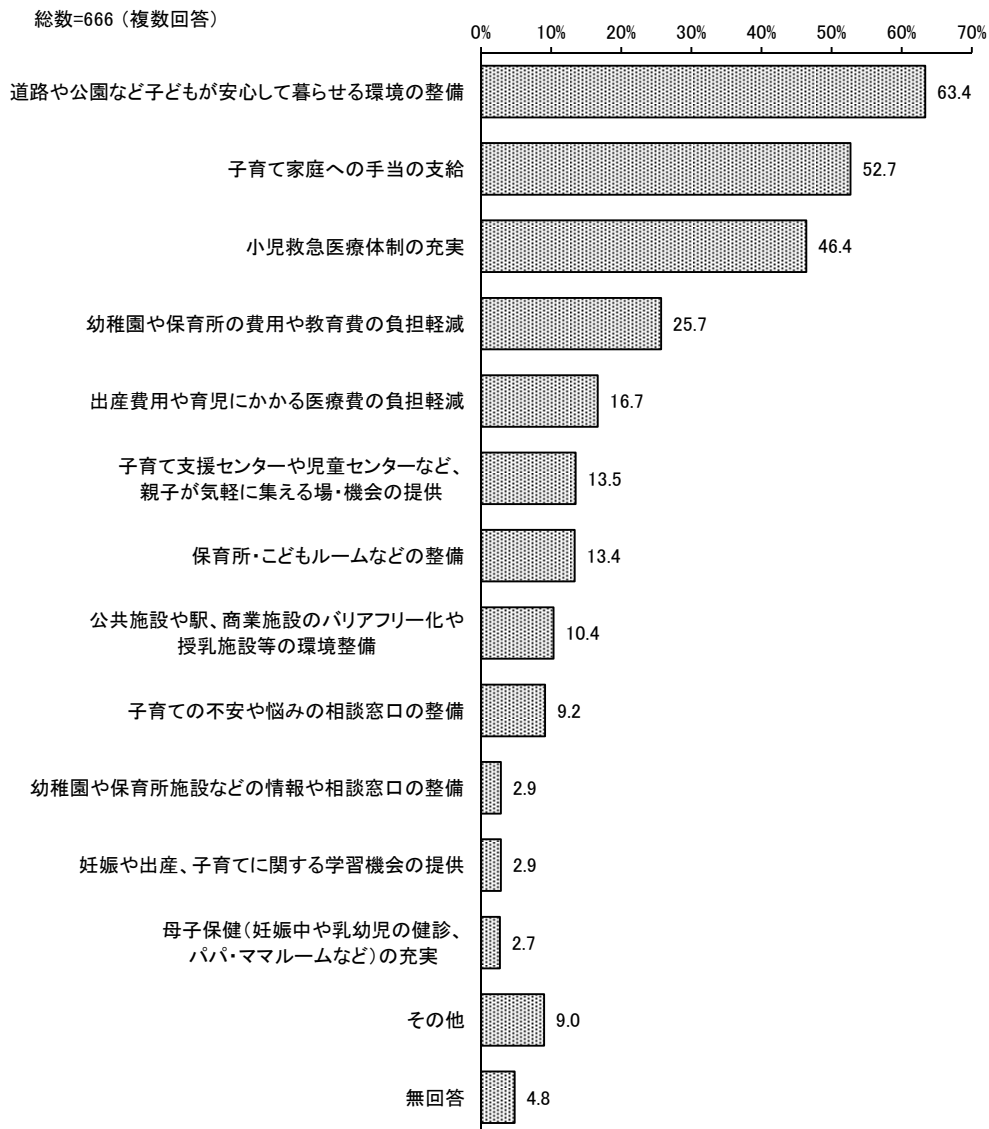
○前回調査結果との比較



前回調査では「満足」が26.4%、「不満」が27.9%であり、「満足」が「不満」を下回っていました。今回調査の「不満」は前回調査を7ポイント下回っています。なお、回答を数値化して平均を算出すると、今回調査の平均点は前回調査の2.9点を0.2点上回っています。

問 28 充実を図ってほしい市のサービス

今後、市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。（あてはまるものすべてに○）



「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」が 63.4%で最も多く、「子育て家庭への手当の支給」が 52.7%、「小児救急医療体制の充実」が 46.4%で続いています。

○充実を図ってほしい市のサービス（居住地区別）

	全体	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診、パパ・ママルームなど）の充実	保育所・こどもルームなどの整備	子育て支援センターや児童センターなど、親子が気軽に集える場・機会の提供	道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境整備	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育所施設などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供	出産費用や育児にかかる医療費の負担軽減	幼稚園や保育所の費用や教育費の負担軽減	子育て家庭への手当の支給	小児救急医療体制の充実	その他	無回答	
全体	666 100.0	18 2.7	89 13.4	90 13.5	422 63.4	69 10.4	61 9.2	19 2.9	19 2.9	111 16.7	171 25.7	351 52.7	309 46.4	60 9.0	32 4.8	
居住地区	四街道小学校区	94 100.0	4 4.3	14 14.9	15 16.0	69 73.4	9 9.6	11 11.7	3 3.2	3 3.2	17 18.1	28 29.8	52 55.3	46 48.9	8 8.5	4 4.3
	旭小学校区	30 100.0	-	2 6.7	3 10.0	23 76.7	4 13.3	4 13.3	1 3.3	1 3.3	3 10.0	9 30.0	18 60.0	14 46.7	2 6.7	-
	南小学校区	50 100.0	1 2.0	11 22.0	10 20.0	24 48.0	9 18.0	5 10.0	-	-	6 12.0	12 24.0	26 52.0	25 50.0	5 10.0	2 4.0
	中央小学校区	98 100.0	3 3.1	12 12.2	12 12.2	58 59.2	15 15.3	9 9.2	4 4.1	4 4.1	19 19.4	20 20.4	57 58.2	48 49.0	7 7.1	4 4.1
	大日小学校区	62 100.0	-	4 6.5	7 11.3	42 67.7	4 6.5	5 8.1	1 1.6	-	13 21.0	15 24.2	34 54.8	28 45.2	8 12.9	3 4.8
	八木原小学校区	59 100.0	1 1.7	10 16.9	8 13.6	28 47.5	5 8.5	6 10.2	3 5.1	3 5.1	9 15.3	15 25.4	32 54.2	30 50.8	5 8.5	4 6.8
	四和小学校区	68 100.0	-	7 10.3	7 10.3	48 70.6	10 14.7	3 4.4	1 1.5	2 2.9	10 14.7	17 25.0	20 29.4	23 33.8	4 5.9	3 4.4
	山梨小学校区	13 100.0	-	1 7.7	1 7.7	9 69.2	-	2 15.4	1 7.7	-	2 15.4	4 30.8	7 53.8	7 53.8	1 7.7	-
	みそら小学校区	20 100.0	1 5.0	-	5 25.0	13 65.0	1 5.0	2 10.0	-	-	2 10.0	6 30.0	13 65.0	10 50.0	2 10.0	2 10.0
	栗山小学校区	26 100.0	1 3.8	2 7.7	2 7.7	17 65.4	2 7.7	3 11.5	1 3.8	1 3.8	6 23.1	7 26.9	13 50.0	12 46.2	1 3.8	1 3.8
	和良比小学校区	90 100.0	5 5.6	12 13.3	7 7.8	57 63.3	5 5.6	9 10.0	2 2.2	3 3.3	14 15.6	23 25.6	49 54.4	36 40.0	10 11.1	6 6.7
	吉岡小学校区	31 100.0	1 3.2	8 25.8	10 32.3	21 67.7	3 9.7	1 3.2	1 3.2	1 3.2	6 19.4	7 22.6	15 48.4	17 54.8	5 16.1	1 3.2
	無回答	25 100.0	1 4.0	6 24.0	3 12.0	13 52.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	4 16.0	8 32.0	15 60.0	13 52.0	2 8.0	2 8.0

※居住地区別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

○充実を図ってほしい市のサービス（満足度別）

	全体	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診、パパ・ママルームなど）の充実	保育所・こどもルームなどの整備	子育て支援センターや児童センターなど、親子が気軽に集える場・機会の提供	道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境整備	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育所施設などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供	出産費用や育児にかかる医療費の負担軽減	幼稚園や保育所の費用や教育費の負担軽減	子育て家庭への手当の支給	小児救急医療体制の充実	その他	無回答	
全体	666 100.0	18 2.7	89 13.4	90 13.5	422 63.4	69 10.4	61 9.2	19 2.9	19 2.9	111 16.7	171 25.7	351 52.7	309 46.4	60 9.0	32 4.8	
満足度	満足	199 100.0	4 2.0	21 10.6	27 13.6	124 62.3	21 10.6	18 9.0	1 0.5	4 2.0	28 14.1	44 22.1	100 50.3	105 52.8	14 7.0	7 3.5
	普通	323 100.0	10 3.1	41 12.7	35 10.8	210 65.0	37 11.5	31 9.6	12 3.7	11 3.4	60 18.6	86 26.6	170 52.6	143 44.3	24 7.4	14 4.3
	不満	133 100.0	3 2.3	24 18.0	25 18.8	82 61.7	9 6.8	11 8.3	5 3.8	4 3.0	22 16.5	39 29.3	75 56.4	56 42.1	20 15.0	8 6.0
	無回答	11 100.0	1 9.1	3 27.3	3 27.3	6 54.5	2 18.2	1 9.1	1 9.1	0 0.0	1 9.1	2 18.2	6 54.5	5 45.5	2 18.2	3 27.3

※満足度別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

○充実を図ってほしい市のサービス（家庭の経済状況別）

	全体	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診、パパ・ママルームなど）の充実	保育所・こどもルームなどの整備	子育て支援センターや児童センターなど、親子が気軽に集える場・機会の提供	安路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備	道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境整備	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育所施設などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供	出産費用や育児にかかる医療費の負担軽減	幼稚園や保育所の費用や教育費の負担軽減	子育て家庭への手当の支給	小児救急医療体制の充実	その他	無回答	
全体	666 100.0	18 2.7	89 13.4	90 13.5	422 63.4	69 10.4	61 9.2	19 2.9	19 2.9	111 16.7	171 25.7	351 52.7	309 46.4	60 9.0	32 4.8		
経済状況	ゆとりあり	70 100.0	2 2.9	9 12.9	8 11.4	43 61.4	7 10.0	8 11.4	2 2.9	2 2.9	8 11.4	9 12.9	23 32.9	33 47.1	9 12.9	2 2.9	
	普通	354 100.0	9 2.5	49 13.8	46 13.0	228 64.4	32 9.0	33 9.3	9 2.5	10 2.8	54 15.3	83 23.4	172 48.6	160 45.2	31 8.8	19 5.4	
	苦しい	235 100.0	7 3.0	30 12.8	36 15.3	148 63.0	29 12.3	20 8.5	8 3.4	7 3.0	49 20.9	79 33.6	154 65.5	113 48.1	19 8.1	10 4.3	
	わからない	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-
	無回答	5 100.0	-	1 20.0	-	2 40.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-	1 20.0	2 40.0	-	1 20.0

※家庭の経済状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。